

城西国際大学

巻頭・特別寄稿

JIUの進む道
杉林堅次学長

学び

2018
11
vol. 2

城西国際大学広報誌

高橋賢成さん(2018年3月
メディア学部卒)卒業制作『海拔』が
東京国際映画祭・日本映画ス
プラッシュユ部門に選出
JIUの動き／キャンパス点描／新施設の紹介／東金市長インタビュー…他

目次

- 2 [巻頭・特別寄稿] 杉林堅次 学長
- 4 JIUの「動き」 —あれも、これもあった
- 9 キャンパスの四季
- 10 研究室探訪/JIUに留学しました
- 11 空を翔る —JIUスポーツ
- 13 広がる感動の地平線 —文化サークル紹介
- 13 水田美術館
- 14 キャンパス点描
- 19 創業者・水田三喜男の足跡を辿る
- 20 先輩訪問
- 22 [インタビュー] 鹿間 陸郎 東金市長/東金ミニ歴史散歩
- 23 地域とともに
- 24 [でかした先輩] 高橋賢成 (映画制作)
- 25 同窓会から/奨学金制度一覧
- 26 大学グッズ/父母後援会から
- 27 新施設の紹介
- 28 ここが魅力/コーヒータイム~談話室
- 29 JIUでは
- 30 発刊のお知らせ/こんな発行物も/ぜひ読んでください
- 31 告知板/特待生制度/編集後記

巻頭・特別寄稿

杉林 堅次 学長



日本私立大学連盟提言 「未来を先導する私立大学の将来像」

私が城西国際大学学長となりまして、一年半が過ぎました。大学ならびに大学を支援くださる多くの方とお話する中で、城西国際大学の財産をいくつも知ることができ、大変うれしく思っています。首都圏にキャンパスを展開し、成田空港にも近い本学の今後の進むべき道について、よい点をさらに伸ばし、大学の発展のため注力すべきポイントは何かにについて日々考えております。

現在、文部科学省、中央教育審議会、日本私立大学連盟、自由民主党教育再生実行本部、日本経済団体連合会、経済同友会をはじめ、多くの団体から、高等教育をめぐる課題と提言がなされています。それらの提言の中から、共感できる点について報告を兼ね、城西国際大学の進む道について、いま私が考えていることをお伝えしたいと思います。

JIUの進む道



私大連（日本私立大学連盟）は、2018年4月に私立大学自らの姿勢と高等教育の方向性を示す提言「未来を先導する私立大学の将来像」を取りまとめました。

本提言では、

- ①第四次産業革命：Industry 4.0と呼ばれる産業構造の大きな変化に対応して、人工知能（AI）に代替不可能な分野の教育推進と教員養成の高度化の必要性
- ②究極の少子高齢・人口減少社会の到来、さらにはロンドンビジネススクールのリンドン到来に対応した教育の必要性
- ③地方創生とグローバル化の一体的推進と地域における知の拠点形成の必要性などの「大学を取り巻く環境の変化」を踏まえ、大学教育のあるべき姿や大学全体の規模や配置について考察した、大学の機能・

役割等

について明示しました。

また、私立大学自らの将来に向けた姿勢として「私立大学の将来構想」を示すとともに、それを実現するために必要な国や産業界、社会からの支援について提示しました。

JIUと学長の役割

城西国際大学JIUは、千葉県の東金、鴨川と東京の紀尾井町にキャンパスを有し、社会科学系、人文科学系、福祉・医療系の8学部10学科と大学院、留学生別科などを擁する国際的総合大学に発展し、いまなお新しい教育コースや専攻の必要性を考え続けています。

JIUは、そもそも21世紀の産業構造や人の生き方に対応できる「新しい大学」を目指し発展してきました。

たので、旧来の大学にはなかった新規の学部・学科や研究科・専攻も設置し、新しい大学のストラクチャ（構造）を提示してきました。しかし、新しいがゆえに高校生や地域の方々には、具体的なイメージをとりにくいところもあったと反省しています。

しかしながら、前述した私大連の提言の意味をかみ砕いてみれば、「複雑な社会の変化に対応できるような教育・研究の多様性が必要で、大学の独自性に沿って大学を創ることが私立大学の役割である」と述べられていることから、JIUこそが新時代のリーダー大学として日本だけでなくアジアや世界に羽ばたいていけることを高校生や地域の方々にも理解いただけると思うようになりました。

もちろん、創立30周年を目前に控えたこの機にJIUはさらに大きな飛躍を目指し、新しい教育内容をわかりやすく説明・実践し、そして成果を得ていくことが大切です。そのため、いつも述べていることではあります。学長としてリーダーシップをとり、ガバナンスを確立し、また、さまざまな意見を吸い上げ、醸成し、活かしていきたいと思っております。

AIに代替不可能な分野の教育推進

ここで、前述した私大連の提言に戻って、大学が学生に付与させるべき能力について少し具体的に示したいと思います。

まず、「①第四次産業革命への対応」です。AI、モノのインターネット（IoT）、ビッグデータの解析、

人生100年時代への対応

自動化ロボットの開発などを中心とするIndustry 4.0。そして我が国が述べているSociety 5.0に対応する教育です。大学は「詰め込み教育」「二方通行」と揶揄されることの多いこれまでの知識偏重主義教育から脱却し、体験学習や調査学習、グループワークやディスカッションなどを通じて、学生が「自ら能動的に学ぶ力」を身に付けられるような教育へと転換していかねばなりません。どの学部でもプログラミングや情報科学（IT）教育、特に世の中にあるビッグデータを（統計）解析できる教育や研究が必要になります。

また、AIに代替不可能な「人の気持ちに寄り添う」ことが重要な医療職や「他者へのコンサルテーション」を行う職業に携わる人材を育成できる教育システムを作り上げることが必要でしょう。大学の教職員はまさにAIに代替不可能な職業の一つと言われていますが、だからこそ、大学教職員にはIndustry 4.0やSociety 5.0と言われる大変革に対して自らを変えていく努力と柔軟な考え方が必要になってきました。

大学ではつねつね「知識」、「技能」、「態度」の付与こそが大切であるといわれてきましたが、この大変革の時代にあつて私は、人間としてのあり方を常に問う主体的で洞察力に富んだ思考力、歴史と現在、また、変わるものと変わらぬものを知った上で、今日と未来の変化を理解する能力、すなわち生きるための「知恵（Wisdom）」こそが大切であると考えるようになりました。

地方創生とグローバル化への対応

そして最後は、「③地方創生とグローバル化への対応」です。JIUは、創設者水田三喜男先生が述べられた「学問による人間形成」という建学の精神に基づいて教育をしてきましたが、今後はさらに日本や地域の資源や特色を活用した多様で独自性のある教育研究をも推進しなくてはなりません。国際大学としてのJIUのキャンパスには多くの留学生が学んでいますので、まさに多文化共生の舞台となっています。また、本学にはすでに200校弱を超える海外協定校があります。学生が海外で短期間でも研修すると、言語、服装、食、物、考え方、手順、方法、価値観、などいろいろな面で日本との違いに気づきます。この違いはどちらが優れているという問題ではありません。留学や海外の学生と接して多文化共生を経験することによって、他国の文化を知り、そこに暮らす他者の気持ちを尊重する考え方が生まれます。しかし、もっと大切なのはその後です。実は国内でも多様な人が多様な価値観で暮らしています。

JIUでは多様な個人的な取り組みによって大学改革を推進し、また、多様性と特色を活かしたカリキュラムを編成して、今以上に先鋭化していくことが必要でしょう。すなわち、海外を知れば、地域連携も進んでくるものと考えています。地方創

題字について

表紙の「**学ぶ**」は、辻元大雲さんによるものです。辻元さんは、毎日書道会理事、書道芸術院理事長を務められており、2017年度の「第69回毎日書道展」で最高賞「文部科学大臣賞」を受賞されています。千葉県袖ヶ浦市在住。

プロフィール

富山大学大学院薬学研究所薬学専攻（修士課程）修了。薬学博士（岐阜薬科大学）取得。米ミシガン大学、ユタ大学留学。講師、助教などを経て城西国際大学薬学部教授。また、薬学部長、城西国際大学・城西国際大学副学長を歴任した後、2017年4月から城西国際大学学長。日本薬剤学会賞、Shukri Distinguished Kenote Lecture Award、日本動物実験代替法学会功労賞、アジア薬学会賞（APPS Award）など受賞。マレーシア・マネジメント科学大学の名誉博士。

城西国際大学は、社会科学系、人文科学系、自然科学系、福祉・医療系の8学部10学科と大学院、留学生別科などを擁する国際的総合大学。アジア地域をはじめ米国・欧州の30カ国、約170の大学と提携している。千葉県の東金市・鴨川市、東京紀尾井町にキャンパスがある。

- 学部**
- 看護学部——看護学科
 - 薬学部——医療薬学科
 - 福祉総合学部——福祉総合学科・理学療法学科
 - 環境社会学部——環境社会学科
 - 経営情報学部——総合経営学科
 - メディア学部——メディア情報学科
 - 国際人文学部——国際文化学科・国際交流学科
 - 観光学部——ウェルネスツーリズム学科

- 大学院**
- 人文科学研究科——国際文化専攻（修士課程）
 - ▼女性学専攻（修士課程）▼グローバルコミュニケーション専攻（修士課程）▼比較文化専攻（博士後期課程）
 - 経営情報学研究科——起業マネジメント専攻（修士課程）▼起業マネジメント専攻（中小企業診断士登録養成課程・修士課程）▼起業マネジメント専攻（博士後期課程）
 - 福祉総合学研究科——福祉社会専攻（修士課程）
 - ビジネスデザイン研究科——ビジネスデザイン専攻（修士課程）
 - 薬学研究科——医療薬学専攻（博士課程・4年制）
 - 国際アドミニストレーション研究科——国際アドミニストレーション専攻（修士課程）

- 留学生別科**
- 日本文化専修課程
 - 日本語専修課程

シニア・ウェルネス大学（生涯教育）

シニア・ウェルネス大学は、教養・健康・学術的取り組みなど、大学が有する知的資源を分かりやすく提供することによって、地域の方の生涯教育を推進し、生きがいをもって社会参加していただくことを目的として、2006年に開設された。

2018年度より、シニア・ウェルネス大学は1年制プログラムとなり、運動・栄養・くすり・福祉などに関する知識を習得しながら、「健康・生きがいづくり」を支援するプログラムを提供している。また、ウェルネスリーダーの資格を取得することも可能である。講義や実技は、春学期は4月、秋学期は9月から開講しており、本学の教員だけでなく外部からも講師を招いて行われる。プログラムの修了者には、卒業式に合わせて修了証書が授与される。



JIUの「動き」

—あれも、これもあった—

2018年10月まで

就職面談会 参加212社 活動本格化

JIU独自の「就職面談会」が2018年3月12日、千葉・幕張のホテルで開かれた。写真。3年生（当時）を対象に毎年、行われる恒例行事。

この日の出席者は、212社で、内訳は、企業172社、福祉関連40施設。学生は薬学部を除く、451人の3年生が出席した。この面談会で参加企業と就職の内々定をする学生もあり、会場は熱気にあふれた。

この面談会を機に3年生の就職活動は本格化する。

スリランカの教育大臣 来学

3月19日、スリランカ民主主義共和国のAnura Kumara Dissanayake教育大臣が千葉東金キャンパスに来学された。

スリランカ出身の留学生との意見交換が行われた。杉林堅次学長らと面談し、スリランカからの学生受け入れや、スリランカへの日本語教員派遣などで、今後も積極的に両国の交流を進めていくことが話し合われた。

なお、東金キャンパスのある東金市に隣接する山武市は、2020年東京オリンピック、パリ五輪競技大会に出場するスリランカ選手団の事前キャンプ地（ホストタウン）となっている。

大学の国際性ランキング JIUが13位にランクイン

ベネッセコーポレーション(Benesse Corporation)が3月に発表した「THE World University Rankings 2018」国際性で、JIUが13位にランクインした。外国人教員や海外からの留学生の数、日本人の海外留学派遣学生数、外国語で行われている授業の比率などから、本学の国際教育が高く評価された。

JIUは開学した1992年より「グローバル人材の育成」に先進的に取り組

特別栄誉教授称号を授与

7月24日、東京紀尾井町キャンパスにおいて、杉林堅次学長より、在日中国企業協会及び全業協会及び全日中国企業協会連合会の王業訓会長へ特別栄誉教授の称号が授与された。写真。

同協会と学校法人城西大学は、2018年4月に経済、教育、文化等の諸分野における日中両国の友好と発展を目的として、双方による協力関係の構築に合意し、覚書を取り交わした。

今後、様々な国際教育の展開が期待されており、同協会会員企業における学生を対象としたインターンシップの実施や、経営情報学研究科起業マネジメント専攻（博士後期課程）における同協会会員企業に所属する社員を対象とした社会人対応コースの開設などが予定されている。

Asia Summer Program 「JIU」旗掲げ英語スピーチ

杉林堅次学長は、7月8日から10日までの日程で、韓国釜山にある東西大学校（張済國総長）を訪問し、同大学校で開催された「Asia Summer Program (ASP) 2018学長会議」及び「ASP Opening Ceremony」に出席した。

ASPは、アジア各国を中心とした学生交流プログラムとして2013年にスタートし、城西国際大学でも2015年（第3回大会）を開催している。6回目となる2018年は、43大学から約450名もの学生が参加し、城西国際大学からも観光学部の学生4名が参加した。

ASPの開催を機に開かれた学長会議には、8カ国12大学の学長が出席し、各大学の国際教育に関する取り組みの事例が紹介された。杉林学長は、少子高齢社会やIndustry 4.0にみる科学技術の指数的な進展が及ぼす高等教育について述べるとともに、この困難な時代を乗り越えるためのアジア及びASEAN諸国の大学間による交流の促進や教育政策の必要性について提起した。

Logical Singularity（技術的特異点を迎えるときの医薬品について」と題して講演。聴講希望の学生が殺到し、立ち見が出るほどだったが、熱心に聴講していた。

城西国際大学は今回訪問した遼寧大学、遼寧薬科大学をはじめ、遼寧省の提携大学との交流を進めている。

秋季入学式 世界15か国・地域から入学

9月18日、東金キャンパスの水田記念ホールで「2018年度 秋季入学式」を挙行了。日本人学生のほか、アメリカ、インドネシア、韓国、スリランカ、

スロバキア、台湾、チエコ、中国、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベトナム、ポーランド、ヨルダンの世界15か国・地域より379名の外国人留学生が入学し、国際色豊かな式典となった。

杉林堅次学長は、告辞でグローバル化や技術革新の進展に触れ、次のように述べた。「人類は歴史上、最も激動の時間を経験することになります。皆さんはこのような時代に、いずれ実社会に出て、他のいろいろな国の出身者と競争していくことになります。競争は他人と競うものですが、実は自分自身との戦いでもあることを、城西国際大学の日々で感じ取ってもらいたいと考えています。そして卒業の時は、城西国際大

学で学んで良かったと思えるよう頑張ってくださいと思います」

上原明理事長は「私が一番心掛けている言葉は、中国の荀子の言葉で『着眼大局、着手小局』というものです。大きな時代の流れの中で、それに沿った第歩を歩みだすことを心掛けるという意味です。そして私自身が実践してきたことは、「明日の自分は、今日自分が何を考え、どんな行動をするかの結果である」ということです。自分の人生は自分自身で決めるという覚悟を持って、第歩を歩んでもらいたいと思います。皆さんが、城西国際大学で本日から第歩を歩まれ、そして世の中に、人類に貢献できる人間になつていただくことをお願いします」と祝辞、新入生を激励した。

また、来賓の駐日ハンガリー大使館一等書記官のKoloszegi Zsigmond氏、駐日ポーランド共和国大使館二等書記官のMalgorzata Samulc氏、駐日スロバキア共和国大使館参事官のTereza Pucova氏が新入生に祝辞を述べた。新入生を代表して、エトヴェン・ローラーND大学（ハンガリー）からの交換留学生のSara Ongina Amaraさんは、「私は日本へ行きたいという夢のおかげで目的を見つめました。皆さまも自分の夢を忘れないで城西国際大学で自分の目的を見つけてほしいです。」と述べ、学則を守り、勉学に専念することを誓った。

II 写真

また、これに先立ち、8月31日、秋季学位授与式・卒業証書授与式が行われ、日本人学生のほか、中国、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、スリランカ、スロバキア、チエコ、ネパール、ノルウェー、ハンガリー、フランス、ポーランド、モンゴル、ヨルダンの15か国・地域出身の留学生が卒業した。

卒業生を代表して、国際人文学部国際交流学科の角田輝直さんが答辞で、大学で海外留学などさまざまな学びを経験したことや感謝の言葉を英語で読み上げた。

II 写真

学生たちが構成した温かい環境で、好きなおもちゃで遊びながらゆったり過ごす——子どもたちもたいぶ慣れた様子でそれぞれ好きなおもちゃを楽しんでいた。母親同士の会話を弾んだ。

参加した母親たちには「一人見知りもありましたが、会場の雰囲気と学生スタッフの笑顔で最後はとてもスムーズに帰ることができた」「身体を動かすことが好きなので、トンネルがとてもよかったです」と好評だった。

各学部では

看護学部

戴帽式

2018年9月7日、看護学部7期生の1年生112名の戴帽式が行われた。市町村・地域の病院の関係者、高校の先生、教員ら多数が出席。教員からナースキップを、2年生からキャンズドルを看護への思いとともに受け取った。II 写真

杉林学長は「看護師に要求される知識技能の修得に加えて医療人としてのノンテクニカルスキルを学び、グローバル化する世界で地域や世界の医療を変革する人材になることを期待する」と述べた。

1年生は自分たちで考えた「誓いの言葉」の中で、これからの看護の学習への覚悟と人々への感謝、そして誇りを持って看護の道を歩むことを表明した。

薬学部

短期海外留学

2018年2月13日、3年生10名が海外学術提携校であるカリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)・アメリカに向けて出発した。研修期間は約2週間。

滞在期間中はホームステイで過ごし、UCRでの講義に加え現地施設(Loma Linda University, Salk Institute, Spanish Pharma, CVS & TARGET Pharmacyなど)を訪問し、アメリカの医療について学んでいく。また、アメリカの医療や薬剤師の職務・職域に触れるとともに、多文化理解について考えることもできる。

福祉総合学部

EPA候補者と交流

2018年7月5日、恒例となったベトナム人介護福祉士候補者(EPA)との交流会を専任国際研修センターで開催した。EPA候補者は、母国ベトナムでの日本語研修後、日本の介護施設で研修を遂げた。写真。

環境社会学部

卒業研究発表会

国武ゼミでは、毎年、卒業を前に卒業研究の発表会を開催している。2018年も、3月29日、協力をいただいている学内外の方々と一緒に、里山をフィールドに研究活動を行った学生2名による発表を行った。

小谷地進太さんは「24年前に造成された代替産卵池におけるトウキョウサンショウウオの産卵状況とその保全対策」をテーマに、2年間蓄積したフィールド調査の成果を発表した。この研究は企

検体測定室を実施

2017年11月19日、山武郡市薬剤師会、東金市健康増進課との協働で検

体測定室を実施した。生活習慣病の予防や早期発見に役立つ健診の受診率が東金市は40%未満と低く、問題となっている。そこで前年より、東金市産業祭で健診受診の普及啓発を目的に、検体測定室を開設している。

今回は、前年の2倍となる100名以上の参加者を対象にEATe（ヘモグロビンエーワンシー）と血管年齢を測定した。測定には5年生も卒業研究の環

福祉総合学部

EPA候補者と交流

2018年7月5日、恒例となったベトナム人介護福祉士候補者(EPA)との交流会を専任国際研修センターで開催した。EPA候補者は、母国ベトナムでの日本語研修後、日本の介護施設で研修を遂げた。写真。

環境社会学部

卒業研究発表会

国武ゼミでは、毎年、卒業を前に卒業研究の発表会を開催している。2018年も、3月29日、協力をいただいている学内外の方々と一緒に、里山をフィールドに研究活動を行った学生2名による発表を行った。

小谷地進太さんは「24年前に造成された代替産卵池におけるトウキョウサンショウウオの産卵状況とその保全対策」をテーマに、2年間蓄積したフィールド調査の成果を発表した。この研究は企

業で学んで良かったと思えるよう頑張ってくださいと思います」

上原明理事長は「私が一番心掛けている言葉は、中国の荀子の言葉で『着眼大局、着手小局』というものです。大きな時代の流れの中で、それに沿った第歩を歩みだすことを心掛けるという意味です。そして私自身が実践してきたことは、「明日の自分は、今日自分が何を考え、どんな行動をするかの結果である」ということです。自分の人生は自分自身で決めるという覚悟を持って、第歩を歩んでもらいたいと思います。皆さんが、城西国際大学で本日から第歩を歩まれ、そして世の中に、人類に貢献できる人間になつていただくことをお願いします」と祝辞、新入生を激励した。

また、来賓の駐日ハンガリー大使館一等書記官のKoloszegi Zsigmond氏、駐日ポーランド共和国大使館二等書記官のMalgorzata Samulc氏、駐日スロバキア共和国大使館参事官のTereza Pucova氏が新入生に祝辞を述べた。新入生を代表して、エトヴェン・ローラーND大学（ハンガリー）からの交換留学生のSara Ongina Amaraさんは、「私は日本へ行きたいという夢のおかげで目的を見つめました。皆さまも自分の夢を忘れないで城西国際大学で自分の目的を見つけてほしいです。」と述べ、学則を守り、勉学に専念することを誓った。

II 写真

また、これに先立ち、8月31日、秋季学位授与式・卒業証書授与式が行われ、日本人学生のほか、中国、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、スリランカ、スロバキア、チエコ、ネパール、ノルウェー、ハンガリー、フランス、ポーランド、モンゴル、ヨルダンの15か国・地域出身の留学生が卒業した。

卒業生を代表して、国際人文学部国際交流学科の角田輝直さんが答辞で、大学で海外留学などさまざまな学びを経験したことや感謝の言葉を英語で読み上げた。

II 写真

学生たちが構成した温かい環境で、好きなおもちゃで遊びながらゆったり過ごす——子どもたちもたいぶ慣れた様子でそれぞれ好きなおもちゃを楽しんでいた。母親同士の会話を弾んだ。

参加した母親たちには「一人見知りもありましたが、会場の雰囲気と学生スタッフの笑顔で最後はとてもスムーズに帰ることができた」「身体を動かすことが好きなので、トンネルがとてもよかったです」と好評だった。

業との共同研究として行っている地域の希少種の保全につながる地道な調査結果をまとめたものだ。

宮川青さんは「里山における自然教育——一年間の活動とその意義——」と題して、里山プロジェクトが行ってきた里山での自然観察会などの環境教育について、自身が関わった2年間分をまとめたものの報告し、また、自然観察会及び、12月に東京ビックサイトで開催された「エコプロダクト展2017」の参加者を対象に行った環境教育に関する意識調査について、分析した結果と考察をまとめ発表した。

当日は共同研究を行っている企業の方や、東金市、山武市の里山の保全活動、里山を利用した教育活動を行っている方々、またプロジェクトのOBなど多くが来場され、盛んな質疑応答が行われた。

経営情報学部

海外インターシシップ 韓国

2018年2月19日から26日に実施され、16名が参加した。今回のテーマは、「日韓両国における物流（エア・アンド・シー）の比較研究」として日本の横浜港と成田空港（ANA物流センター）、そして韓国の釜山港と仁川空港の物流センターを訪問し、現場で物流を学んだ。釜山港では、現場で詳細な説明を受けた。また、現代自動車、サムスン電子などの企業を見学した。

海外ビジネス研修 米カリフォルニア大学リバースサイド校

2018年9月5日から16日まで、協定校であるカリフォルニア大学リバースサイド校を拠点とした海外ビジネス研修を実施した。

メディア学部

タイ国際映画祭 特別賞

メディア学部映像技術ゼミの学生、および、プロの混合スタジオによるチームで制作された長編映画「ライズ・ダールライザー THE MOVIE」が、2018年9月14日に開催されたタイ国際映画祭で、特別賞にあたる「ベストプロダクションデザイン賞」を受賞した。

国際人文学部

ベトナム柔道交流

国際交流学科4年の久保麻衣香さん（長崎明誠高校出身）が、2018年3月5日から3月14日までベトナムのハノイで行われた「21世紀東アジア青少年交流計画2017」ベトナム柔道交流派遣に柔道部員として参加した。写真。滞在期間中は現地の子供たちと柔道を教え、ベトナムナショナルチームとの練習試合を行った。また在ベトナム日本



国大使館を訪問し、柔道のみならず、日本とベトナムの歴史、経済、文化も学んだ。

博士が講演

元マレーシア観光大臣

「相手を知らないと、愛することはできない。まずは相手を知ること」2018年6月13日、東金キャンパスで行われたワークショップで、ン・イエン博士はそう学生たちに語りかけ、「相互に相手の文化を尊重することも大切」と熱心に説いた。写真。博士は、マレー系、中国系、インド系などの人々が共存する多文化社会のマレーシアの出身で、中国系マレーシア人の女性として、初めて閣僚になり、女性・家族・地域発展担当大臣や観光大臣を務めた。

科4年生）は、企画・準備から司会に至るまで尽力した。

観光学部

包括的地域連携協定 館山信金、南房総観光連盟と

2018年3月13日、観光学部は、館山信用金庫と南房総観光連盟との間で包括的地域連携に関する協定を締結した。写真。協定

提携により、南房総地域の観光・産業の振興及び観光の人材育成をはかることにより、地域経済の発展並びに地域社会の活性化を実現する。

館山信用金庫本店で行われた調印式で、倉林観光学部長代行（当時、現学部長）は「この協定を新たなプラットフォームとして、地域の活性化や観光立国・少子化の中で活躍する人材育成に努めたい」との抱負を語った。今後、観光コース等の商品開発やそれぞれのネットワークを

紀尾井町キャンパスでは

第2回 城西大学、城西国際大学、城西短期大学、城西国際大学 合同大学祭

入場待ちも出る盛況ぶり

地域の方も来場多



10月14日、東京紀尾井町キャンパスの3号棟で「第2回 城西大学、城西国際大学、城西短期大学、合同大学祭」(3J Festival 2nd)が開催された。「城西3大学の学生が通う紀尾井町キャンパスでも大学祭を」との各大学の学生から

らの希望により、2017年に初めて合同大学祭が実現した。この日、午前10時に開場、オープニングセレモニーでは、3大学の学生代表が開催を宣言し、「3J Festival 2nd」がスタートした。写真①。合同大学祭では、3大学のゼミ、サークルなど学生が主体となって運営。舞台構成、音響設備、会場演出、展示、模擬店など、力を入れて準備した。1

階のラトランス・ステージでは、東金キャンパスからJIU学友会吹奏楽団（堂蘭晴菜・団長、福祉総合学療理学療法学科2年）が演奏を披露するなど楽しませた。写真②。また、「東京国際映画祭招待監督 ライバルトーク」と銘打ち、メディア学部の卒業生である高橋賢成監督らによるトークショーが行われた。3号棟にある化石ギャラリーの宮田真也学芸員のトークショーも。地下ステージでは、ジャズや軽音楽などのフサト、ダンスといった演目が来場者を沸かせた。

教室発表部門では、メディア学部の映像体験や声優ゼミによる朗読劇、アニメーション体験、クイズなどを行った。

学校法人城西大学では

中欧・日本(Central Europe/Japan)学生会議

「格差社会の拡大と学生生活への影響」を議論

2018年2月10日、東京紀尾井町キャンパス3号棟の国際会議場において「第4回 中欧／日本（Central Europe/Japan）学生会議」が学校法人城西大学中欧研究所の主催、フリードリヒ・エーベルト財団の共催により開催された。写真。

今回のメインテーマは「格差社会の拡大と学生生活への影響」。この会議のために欧州から来日した学生とJIU、JIUの学生、留学生が、「不平等なスタート——生い立ちが学生の選択肢に与える影響」▼「教育の機会均等——夢と現実」▼「格差社会の諸相」という

冒頭、パラボリチ・ノルバート駐日ハングリー大使が「教育は、国にかかわらず、さまざまな機会を与えてくれる。会議で議論を深めてほしい」とあいさつ。共催のフリードリヒ・エーベルト財団は、「ドイツの非営利財団

で、教育・研究・国際協力を通して公共政策の発展に努めている。パネルディスカッションでは、ドイツ・ケルン大学、チエコ・プラハ経済大学、スロバキア・コメンヌス大学、ハンガリー・ペーチ大学、ポーランド・ワルシャワ大学の学生や中欧からの留学生、本学の学生らが、それぞれのテーマ毎に意見を発表した。

会議では、「高学歴社会において、正規の教育のほかに語学やIT関連などのスキルや資格を得るための付随的なトレーニングが必要で、そこに多額の教育費が追加される」というドイツの例や「大学生の4人のうち3人が学費・生活費をねん出するためアルバイトをしている」という日本の大学生の実態が報告された。また、その前日の9日には、同キャンパスにおいて、「V4（ウィシエグラド4

「格差社会の拡大と学生生活への影響」を議論

「格差社会の拡大と学生生活への影響」を議論

「格差社会の拡大と学生生活への影響」を議論

「格差社会の拡大と学生生活への影響」を議論

「格差社会の拡大と学生生活への影響」を議論

用した国内・海外への情報発信、観光立国・少子化の中で活躍する人材育成など、広範囲な分野で連携していく。

さくらウオーキング

2018年4月4日に「第12回さくらウオーキング in 嶺岡中央林道」を開催し、新入生を中心とする観光学部の学生と市民の約60名が、陽春の林道散策を楽しんだ。

観光学部は2006年に「嶺岡林道桜並木修復プロジェクト」を立ち上げ、学生たちが嶺岡林道の自然、歴史、文化について学び、地元地域の方々とともに環境について考えながら、桜並木の修復整備を行っている。

参加者は、安房キャンパスを出発してから太海駅や魚見塚一戦場公園を経由し、創元寺のある水田三喜男先生の生家までの約12kmのコースを歩いた。ゴール地点の生家では茶道サークルによる野点が開かれ、茶道のお点前が披露されて参加者はお茶とお菓子に舌鼓を打った。写真。

新入生は、このイベントを通じて、先人の生活の知恵が詰まった生家の建築構造や歴史について理解を深めるとともに、今後この鴨川ので大学生生活を送り、観光について学ぶ意義を実感することができる。

日本人学生とベトナム人留学生の新生女子3人グループは、「桜が満開でもっと綺麗でした。安房グロウバルウェイ（AGV）で仲良くなり、昨晩は3人でタコライスを作って一緒に食べました。次はベトナムのフオーをみんなで作ろうと思います。さくらウオーキングやフレッシュマンゼミ、ナイをたくさん通って友達をたくさん作っていきたくて思っています」と話していた。

本学からは学生20名、教職員14名の計34名が参加した。安全を祈念したあと、午前9時、神輿などがスタートし、日枝神社を目指した。天候だったが、総勢300名の行列は圧巻だった。

また今回、本学の上原理恵社長が会長を務めている大正製菓株式会社より、栄養ドリンク剤「リポビタンD」が提供され、休憩所である3号棟キャンパスにおいて、参加者同様に振る舞われた。普段の生活において伝統文化に触れることがあまりなくなっており、現代のこのような大きなお祭りに参加し、地元の方たちと絆を流す——学生にとっても大学にとっても得がたい経験だ。今回の大祭は2020年、東京オリンピック開催の年。次回も学生、教職員らの参加をお待ちしている。

中欧の協定校などを訪問

小野元之理事長特別補佐を団長とする学校法人城西大学一行は、9月30日から約1週間の日程で中欧ヨーロッパ諸国を訪問。協定校と交流を深めたい。ポーランドでは、ウッチ大学、ワルシャワ大学を訪問。チエコでは、マサリク大学でセミナーにも参加し、本学の留学生とも懇談した。スロバキアでは、コメンヌス大学を表彰訪問した。

秋

春



移り変わる季節に

キャンパスの詩 四季

そしてあざやかな晩秋の紅葉の季節だ。スポーツ、芸術・活動にいそむ学生の顔を光り照らす。



「光の春」から「爛漫の春」へ。ピアノ池に満開の桜が映え、「ピンクのトンネル」を新入生らが通る。

いつのまにか季節が移り変わっている。



冬

夏

厳寒の冬になった。人影はまばら、雪が積もる。白く染まったキャンパスは静かだ。



「夏」。その桜が雨をいっぱい吸い込んで、ほかの木々の仲間たちとともに深い緑の衣装をはおる。



JIUの動き

—あれも、これもあった

中国の大連と瀋陽地域にある8つの協定校を訪問 友好関係継続と交流推進はかる

小野元之理事長特別補佐を団長とする学校法人城西大学一行は、6月19日〜23日の日程で、中国の大連と瀋陽地域にある8つの協定校を訪問し、友好関係の継続と交流の推進をはかった。

大連理工大学 翌日は大連理工大学を訪問。郭東明学長ら新執行部と面談した。両大学学生相互のインターシップ研修の受け入れ、日中連携大学院の充実、大連理工大学における本学の出先事務所の設置と運営、城西大学大学院において毎年5名ずつの大連理工大学学生の受け入れ、本学から大連理工大学修士・博士号取得学生への奨学金授与、大連理工大学教員による本学での講演会の実施など両学で積み上げてきた教育成果について、郭学長と確認しあった。



博之氏も同席し、「向坊隆記念・村井隆・奨学金、水田三喜男記念奨学金授与式」が行われた。奨学生計20名に水田三喜男記念および向坊隆記念奨学金が贈呈され、大学院生たちとの交流を図った。写真。

遼寧工程技術大学 21日、瀋陽において、東北大学の王秋菊先生よりご紹介された遼寧工程技術大学との梁冰学長との面談が行われた。遼寧工程技術大学は1949年に設立され、2019年に創立70周年を迎える、全国の重点大学の1つだ。阜新キャンパス（瀋陽から車で約3時間）と葫蘆島キャンパスの2キャンパスを有し、学部数が26、在籍学生数が2万6000人余り。工学系と理学系が強く、公共管理と法学院、工商管理学院、マーケティング学院、外国語学院、メディア学院などの文系学部も揃っている。



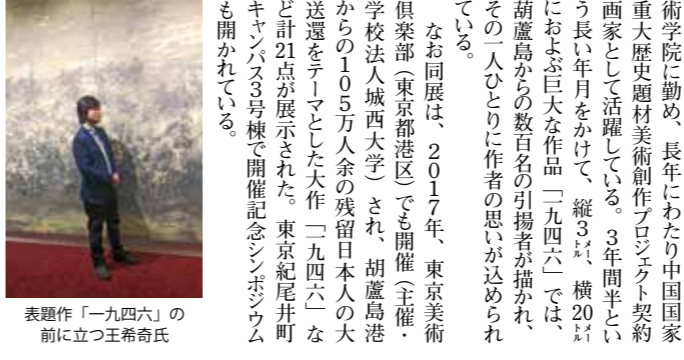
中国医科大学 21日、杉林堅次学長をはじめとする一行は、中国医科大学を訪問。城西国際大看護学部が毎年、研修でお世話になっているため、そのお礼を伝え、今後の幅広い交流の発展について協議した。

東北大学 21日、東北大学を訪問し、徐峰副学長と面談。徐副学長は、日中連携大学院による8名の若手教員の育成、国際交流の支援に對し、感謝の意を述べられ、今後、さらに学際的な研究を進めて、両大学の交流を深めていくことで一致した。ダブル一流大学（世界一流大学、一流学科）の達成のため、国際化を推進し、日本の大学との国際交流をさらに深めていきたいという。また、今後、JU/JIUと共同でのシンポジウムの開催、理系分野での交流など、幅広く交流を進めたいと要望が出された。

瀋陽薬科大学 22日午後、杉林学長一行は瀋陽薬科大学を訪問。瀋陽薬科大学は、薬剤師養成の臨床コースだけでなく、薬科学研究が盛んにおこなわれている。日本語で教育を行っている学生が年間100名を超える瀋陽薬科大学との共同教育関係を含めたいということで、両大学が同意した。

「王希奇展——一九四六」 独自スタイルで世界的評価の歴史画家

9月28日から12月2日まで中国の歴史画家・王希奇氏の展覧会「王希奇展——一九四六」が京都府舞鶴市の舞鶴引揚記念館の企画展示室で開催。舞鶴市が主催、学校法人城西大学などが特別協力した。



表題作「一九四六」の前に立つ王希奇氏

教養の大地を耕せ

地域に根ざした国際大学であるJIUには、様々な分野で研究を行っている研究室がある。今回は、福祉総合学部福祉総合学科の学科長であり、同学科の子ども福祉コースの所 貞之教授の研究室を訪ねた。



所 貞之 学科長・教授 福祉総合学部福祉総合学科 子ども福祉コース

——先生の専門領域は、「児童福祉論」、「社会福祉学」と聞いておられますが、この「学問の道」に進むきっかけになったのは？

「明治大学政治経済学部政治学科で、学生生活を送りました。この時の経験からです。サークル活動でボランティアをしていました。地域の児童館に行きました。放課後になると子どもたちが自由に遊びにきます。一緒になって遊ぶのがボランティアの役割でした。」

実は、この子どもの遊び場である『児童館』というのは、児童福祉法による福祉施設なのです。『福祉というのは幅広い』と思い、その奥深さにも気が付き始めました。そして、東京都立大学（現首都大学東京）の大学院の社会福祉学専攻修士課程、東洋大学大学院社会福祉学専攻博士課程で研究生生活を送りました」

——城西国際大学にはいつから教壇にお立ちですか。担当科目は何でしょうか。

「2008年4月に福祉総合学部の助教になりました。以来、子ども福祉コースの教員として教壇に立ち、学生らに教えています。担当科目は、主に『子ども家庭福祉論』、『相談援助演習』、『保育実習指導』です」

——子ども福祉コースでお学びになられた高円宮絢子さまも先生のゼミ生だったそうですが、具体的には、学生はどういうことを学ぶのですか。

「例えば児童福祉法についてですね。また『子どもの権利を守り、その幸福をどう保障するか』を打ち出した『子どもの権

利条約』についてです。これは、1989年に国連総会で採択され、1990年9月に発効しましたが、日本が批准したのは94年です。『批准国は子の最善の利益のために行動しなければならない』と定められています。その精神、理念を学びます。ゼミで児童養護施設のボランティアも行います。全国的にも『子どもの福祉』に焦点を当てたコースがあるのは珍しいと思います。——先生は「学生へのメッセージ」として、「他者への思いやり」を挙げていらっしゃいます。この点についてお聞きしたいと思います。

「最近、心が痛むのは児童虐待の増加です。2018年の春、東京の目黒区で痛ましい事件がありました。虐待により小さな女の子が亡くなりました。以前、住んでいた香川県でも虐待が見られ、児童相談所は『この女の子の支援は緊急性が高い』と転居先の東京の児童相談所に連絡した、と説明しています。しかし、東京の児童相談所は『香川から緊急性が高いという説明はなかった』としていました。結局、最悪の事態となったのです。女の子の周囲に『他者への思いやり』がもう少しあれば、この事態は起きなかったかもしれません。こうした状況の中で、国も自治体も子どもを守るための『児童相談所などの権限強化』に乗り出しています。そこで働く福祉の専門職を育てる福祉総合学部の社会的役割は大きいと思います。子どもの心に寄り添い、理解しようとするのがなによりも大事です」

専門職を育てる福祉総合学部の社会的役割は大きい

JIUに留学しました

ベルタ・ジョーフィアさん
教務部教務課



もっと学生と接触を深め、役に立ちたい

留学生が多く出席する秋季卒業式・入学式。今年度も司会を務め、流ちょうな英語が会場の水田記念ホールに流れた。

有名なハンガリーワインの産地に近いヴェシェシュ市で生まれ、育った。本学は、170校を超える海外の大学と協定しているが、そのうちのひとつである、ハンガリー国内の大学では2番目に大きいエトヴェシュ・ローランド大学の日本学科で学んだ。日本語学習のほか、日本歴史、文学、社会、政治、宗教などを学習した。さらに「日本」を学びたくて城西国際大学国際人文学部国際交流学科に留学した。1年生の時に本学の「奨学金制度」を知ったのがきっかけになったという。

1年間、日本語能力に磨きをかけるとともにヨーロッパと日本の関係について授業を受けた。韓国語の履修も。大学のイベントや学外の交流会などに積極的に取り組んだ。教科書で見た日本

の景色を自分の目で見たくて、時間があつたときに貯金を使い、よく国内旅行に行ったという。大学の宿舎では、韓国人留学生とルームシェアしたが、二人の会話は主に日本語だったという。他の留学生と英語と日本語で交流し、その1年間で友好的な関係を築いた人と現在も頻りに連絡を取っているという。

2014年9月に卒業し、同年10月から教務部教務課に勤務することになる。その翌年から卒業式、入学式の司会を任された。入学試験の準備作業、学芸員資格に関する学生への対応、副専攻登録業務……と忙しい。本来の業務以外にもハンガリー人を含め外国人留学生の世話を焼く。後輩留学生にとっては頼もしい存在だ。

「教務課に勤務し、学生をサポートするのは大変、意義のあることだと思っています。もっと学生と接触を深めて、役に立ちたい」



JIUでは、学問とともに様々なスポーツ分野でも積極的に活動を行っています。今回は、女子駅伝部の他、地域との関わり、そして、硬式野球部、軟式野球部、女子ソフトボール部、柔道部、剣道部それぞれの試合結果などをお伝えします。

地域とスポーツ

JIUは、学内の各運動部の強化、発展に努めているだけではない。開学以来、「地域振興とスポーツ」をスローガンに、高校生、中学生、小学生らに「スポーツの場」を提供し、育成してきた。

高校柔道

水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会
冬は、毎年12月に東金キャンパスで行われる「第17回水田三喜男杯争奪選抜高等学校柔道大会」で盛り上がる。写真。

2017年の第17回大会では、男子決勝は前回の優勝に続き、連覇を目指す桐蔭学園高と前回決勝で敗れた大成高の対戦となった。桐蔭学園高が勝利し、通算4回目の優勝を果たした。女子決勝は、連覇を目指す夙川学院高と初優勝を狙う富士学苑高の対戦となり、夙川学院高が勝利して見事、連覇を果たした。翌3月に日本武道館で行われる春の高校選手権では、男女とも本大会で優勝したチームが第1シードを獲得し、高校柔道の新シーズン



この大会は創立者の水田三喜男先生が柔道にいらしてのことになみ、2001年にスタート。現在では全国の強豪校が集う大会として年末の風物詩となっている。

高校剣道

水田三喜男旗争奪選抜高等学校剣道大会
年が明けて2月には、「水田三喜男旗争奪選抜高等学校剣道大会」が東金キャンパスで開かれる。2018年の第17回大会には韓国選抜チームを含む男子48チーム、女子42チーム、総勢600名余の高校生剣士が東金キャンパスへ集った。この大会も創立者が志した文武両道の精神を受け継ぎ、心身の優れた人材育成を目指して行われている。

女子駅伝部

「全日本」の道へ手応え——来年の予選突破へ弾み

関東選手権で健闘 来年の予選突破へ弾み
JIUの女子駅伝部は、9月30日、第24回関東大学女子駅伝対校選手権に出場した。千葉ニュータウン周回コース（6区間29・9km）。3年以下で挑んだJIUは、1時間46分42秒で12位と健闘。来年の予選突破へ弾みをつけた。

レースは、1区の佐藤美雪（3年）からタスキを受けた瀧澤水希乃（1年）が4人を抜いて10位浮上。安部日和（1年）、中島瑛佳（2年）とつなぎ、小林希良莉（3年）はやや不調だったが、アンカー加藤あや（1年）が順位を一つあげてゴールに飛び込んだ。

来年は最上級生となる5区の小林主将は「実力が不足していた。他校との力の差も感じた。来年に向けて今日から一歩ずつ努力していく」と巻き返しを誓った。11年以來の全日本出場へ。日本大時代に箱根駅伝で4年連続区間賞を獲得した経験を持つ大塚監督は「今年のメンバーは全員残るので、来年に向けて奮起して欲しい」と思う。まだ自信がない選手が多いけれど、来年は仙台（全日本）に行けると思う。行ってシードを取りたい」と意気込んだ。なお、すでに「全日本」のシード権を得ている姉妹校の城西大は1時間42分11秒で8位。



女子駅伝部の大塚監督（手前左）と選手たち＝第24回関東大学女子駅伝対校選手権で

男子は初優勝を目指す東海大菅生高と弥栄高の決勝戦となり、東海大菅生高が初優勝を果たした。女子は、初優勝を目指す東京学館浦安高と、通算4度目の優勝を狙う阿蘇中央高が決勝で対戦。阿蘇中央高が実力を遺憾なく発揮して見事、優勝に輝いた。



試合結果
【優勝】城西JFC(東金市)
【準優勝】横芝FC(横芝光町)
【第3位】ときがねFC(東金市)
増穂FC(大網白里市)

少年サッカー

川淵三郎杯 城西国際大学少年サッカー大会
「川淵三郎杯城西国際大学少年サッカー大会」も、同じころに東金キャンパス・高円宮殿下記念スポーツパークで開かれる。2018年で5回目を迎え、すっかり地元に着定している。

この大会は、スポーツを通して次世代を担う青少年の健全な育成に寄与し、スポーツを楽しみながら親睦と交流を図ってサッカーの普及・発展に努め、地域のスポーツ振興に貢献することを目的として開催している。山武郡市の少年サッカーチームが集い、川淵三郎杯をめざして熱戦を繰り広げた。写真。

日本サッカー協会最高顧問の川淵三郎氏

は試合後のインタビューで「子どもたちは寒い中でも元気が良かった。将来、日本代表選手を目指して頑張ってほしい。このスポーツパークで育った選手から日本代表選手が出たら、高円宮殿下もお喜びになると思う。今後の大会の発展を期待している」と選手を激励した。

高円宮殿下記念スポーツパーク

このサッカー大会を支えているのが高円宮殿下記念スポーツパーク。2012年5月、創立20周年記念事業の一環として、公式試合が可能なサッカーグラウンドを備えたスポーツパークが完成した。スポーツ振興や回

際交流活動に尽力した高円宮殿下2002年薨去のご功績を称え、またそのご遺徳を次代に継承すべくPRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK(高円宮殿下記念スポーツパーク)と命名された。竣工式には、高円宮妃殿下にご臨席賜り、メモリアルゲートの除幕が行っていた。スポーツパークは、東金キャンパスに隣接し、約3300平方メートルの広さを持つサッカーグラウンドとクラブハウスおよび多目的広場などの施設を有している。

サッカーグラウンドの面積は約10750平方メートル。選手らの健康管理に配慮し、夏場における表面温度上昇を抑えるような人工芝を施している。また、ナイター設備もあり、ピッチには約3000の観覧席を設けている。クラブハウスは延べ面積約450平方メートル。監督室やミーティングルーム、ロッカールームなどを設けるとともに、屋上に60名収容の観覧席を配置している。

スポーツパークはサッカー部が利用するほか、青少年の育成など地域のスポーツ振興に生かすとともに、スポーツを通しての国際親善交流活動の拠点としても活用している。

広がる感動の地平線

文化サークル紹介

JIUには、「文化の地平線」も広がっている。大学創立とともに活動をスタートした学友会吹奏楽団を紹介したい。



学友会吹奏楽団は、JIU開学の1992年に創立された。千葉県東金キャンパスを拠点として、大学行事での演奏や演奏会、慰問演奏などを中心に活動している。吹奏楽団は、その美しい演奏で地域の人々、学内の人々の心を潤している。吹奏楽連盟主催のコンクールにも積極的に参加しており、千葉県吹奏楽コンクールでは、11年連続金賞に輝いたこともある。2008年の吹奏楽コンクールでは初の全国大会出場を果たした。

学友会吹奏楽団

2008年に全国大会初出場

「指揮者賞」を受賞している。大学生になってから楽器を手にした初心者が多い。しかし、授業終了後の夕方のパートごとの練習、全員が集まり、水田記念ホールでの「日曜練習」を通して、フレッシュな感覚、感性が磨かれていく。建学の精神は「学問による人間形成」。吹奏楽団も「音楽を通しての人間形成」だ。チームワークを大切に活動している。楽団OBの結束も強く、地域での慰問演奏や「日曜練習」にこそって駆け付け、楽器運搬など現役楽団員を支えられている。

県コンクールで11年連続金賞

2018年6月24日、東金キャンパスの水田記念ホールで「城西国際大学吹奏楽団第11回定期演奏会」を開催した。4年ぶりとなった演奏会は、卒業生在学生合わせて60名を超える楽団員が参加し、近隣の中学・高校生や福祉施設の関係者、また、千葉県吹奏楽連盟理事長らが来場された。約400名の来場者数となった。演奏会は2部構成となっており、1部では主に吹奏曲が披露され、2部では現代の曲も吹奏楽団によりアレンジされ、とても楽しい演出となった。楽団員全員での演奏もあれば、途中、現役楽団員によるソロの演奏も行われた。

吹奏楽団を率いて

山口聖一さん（JIU期生）

横浜市内の小学校4年の時に初めてトランペットを握った。千葉県内の高校に通っていた時にプロに指導を受け、1996年に人文学部福祉文化学科に入学、すぐに吹奏楽団に入団する。当時の団員は30人程度。上級生の卒業・引退などで、その数は減り続け、「冬の寒い日、練習場で仲間を待たされたが、だれ

地域に開かれた大学美術館

水田美術館

城西国際大学水田美術館は、創立者の水田三喜男が収集した浮世絵と近代日本画200点余りからなる「水田コレクション」と、千葉の風景やゆかりの物語が描かれた浮世絵と近代木版画を中心とした「JIUコレクション」を所蔵している。浮世絵関連の企画、山武地域を中心とする千葉ゆかりの文化の紹介、学部・学生との連携を3つの柱として、企画展、および講演会やギャラリートークなどを開催している。



「JIUメディアデザインラボ展」会場の様子

健闘を祈る

JIUアスリート

平成30年7月～11月の各部のリーグ戦等は、次の通り。

[硬式野球部]

平成30年度 千葉県1部秋季リーグ戦 第4位

秋季リーグ戦

対戦相手	試合結果	勝敗
09/08(土) 第1節1回戦 対・敬愛大学	0-2	負
09/09(日) 第1節2回戦 対・敬愛大学	5-5	引分
09/11(火) 第1節3回戦 対・敬愛大学	5-4	勝
09/12(水) 第1節4回戦 対・敬愛大学	3-7	負
09/16(日) 第2節1回戦 対・東京情報大学	3-7	負
09/17(月) 第2節2回戦 対・東京情報大学	3-1	勝
09/18(火) 第2節3回戦 対・東京情報大学	1-3	負
09/22(土) 第3節1回戦 対・中央学院大学	3-4	負
09/23(日) 第3節2回戦 対・中央学院大学	8-6	勝
09/29(土) 第3節3回戦 対・中央学院大学	6-3	勝
10/06(土) 第4節1回戦 対・国際武道大学	0-2	負
10/07(日) 第4節2回戦 対・国際武道大学	0-1	負
10/13(土) 第5節1回戦 対・清和大学	6-7	負
10/14(日) 第5節2回戦 対・清和大学	4-1	勝
10/15(日) 第5節3回戦 対・清和大学	8-0	勝

[軟式野球部(観光)]

第39回東日本大学軟式野球選手権大会 出場決定 秋季リーグ戦/第2位

対戦相手	試合結果	勝敗
08/23(木) 第1戦 対・日本大学生産工学部	5-1	勝
08/27(月) 第2戦 対・神田外語大学	9-0	勝
09/03(月) 第3戦 対・国際武道大学	4-6	負
09/07(金) 第4戦 対・城西国際大学	9-1	勝

第27回関東大学軟式野球連盟秋季リーグ戦代表決定戦/優勝

対戦相手	試合結果	勝敗
09/29(土) 1回戦 対・日本大学経済学部	3-0	勝
10/03(水) 決勝 対・帝京大学	8-1	勝

(9/29(土):ナスパスタジアム)

[女子ソフトボール部]

東日本大学女子選手権ベスト16

関東学生秋季リーグ優勝

小野塚菜奈(福祉総合学部1年)が最優秀選手賞を受賞

第33回東日本大学女子ソフトボール選手権大会/ベスト16

対戦相手	試合結果	勝敗
07/07(土) 1回戦 対・東京学芸大学	12-11	勝
07/08(日) 2回戦 対・東京富士大学	0-6	負

(7/6(金):東京都町田市民球場、他)

第18回関東学生女子ソフトボール秋季リーグ戦(第2部)/優勝(4勝1敗0分)

対戦相手	試合結果	勝敗
10/06(土) 1試合目 対・新島学園短期大学	2-3	負
10/06(土) 2試合目 対・関東学園大学	5-3	勝
10/07(日) 3試合目 対・筑波大学	17-3	勝
10/07(日) 4試合目 対・文教大学	7-0	勝
10/08(月) 5試合目 対・清和大学	5-3	勝

(10/6(土):埼玉県東松山市駒形公園ソフトボール場)

[剣道部]

第52回全日本女子学生剣道選手権大会(女子)

個人戦 内藤 慶(福祉総合学部3年) 1回戦敗退
(7/7(日):日本武道館)

第44回関東女子学生剣道優勝大会(女子)

対戦相手	勝敗
1回戦 対・尚美学園大学	勝
2回戦 対・流通経済大学	勝
3回戦 対・東洋大学	負

[全日本女子出場決定戦]

対戦相手	勝敗
1回戦 対・帝京大学	勝
2回戦 対・宇都宮大学	勝
3回戦 対・東海大学	負

(9/3(月):東京武道館)

第67回関東学生剣道優勝大会(男子)

【団体戦】(※1回戦ノード)
2回戦 対・青山学院大学 負
(9/9(日):日本武道館)

[柔道部]

平成30年度関東学生柔道体重別選手権大会

63kg級 青柳ほのか(福祉総合学部1年) ベスト16
73kg級 土屋皓仰(福祉総合学部4年) ベスト32
81kg級 古賀大介(経営情報学部1年) ベスト16
中谷昌雄(経営情報学部3年) ベスト32
100kg超級 北野翔太(経営情報学部2年) ベスト8

(8/25(土):埼玉県 県立武道館)

水田杯野球大会

中学校野球大会/少年野球大会

千葉県鴨川市にある安房キャンパス。観光学部が運営を支えているのが「野球大会」である。毎年、「水田杯中学校野球大会」が開催される。2018年3月に行われた第5回大会は、晴天にも恵まれ、参加校16校、11チームが熱戦を繰り広げた。まず、4グループ(4会場)に分かれてリーグ戦を行い、二日目には各順位グループでトーナメント戦及び交流戦を行った。決勝戦では、下総・大栄・公津の杜中学校の猛打が爆発して12-4で勝浦中学校に勝利し、初優勝を飾った。下総・大栄・

公津の杜中学校は、異なる学校の連合チームでしたが、昨年の準優勝(下総・大栄・吾妻中学校)に続き、今大会も好成績を収めた。大会会長の石毛宏典・城西国際大学特任教授から、「野球は努力と工夫を続けること、仲間を大事にすることが大切です。これからもぜひ野球を続けていってください」と選手たちにエールが送られ、大会の幕が閉じられた。鴨川地区の「夏の風物詩」になったのが、「水田杯少年野球大会」。2018年の第8回大会は、7月7-8日に開催され、12チームが熱戦を繰り広げた。JOSA1安

房ラーニングセンターで開催された開会式では、出場チームを代表して鴨川リトルベアーズの村上竜矢主将が、「日頃の練習の送り迎えや、真っ黒になったユニフォームを真っ白になるまで洗ってくれたお父さん、お母さんに感謝し、精一杯グラウンドの上でプレーすることを誓います」と選手宣誓。初日は観光学部総合グラウンドをメイン会場として、4グループ(4会場)に分かれてリーグ戦を行い、二日目には準決勝と決勝を行った。決勝では、北条スターズが最終回に驚異の粘りを見せて4点差を追い付き、延長戦へ。タイブレーク(1死

満塁からスタート)の末、押し出し四球により11-10で那古ニュースターズがサヨナラ勝ちし、初優勝を飾った。写真。毎年、この大会と上記の「中学校野球大会」は、観光学部軟式野球部の学生が、準備から運営までを担当している。今回の「少年野球大会」は、1年生がマレーシア研修で不在のため、2・3年生のみ14人という少人数ながら、4会場で審判、アナウンス、グラウンド整備、片付けなど、全力でプレーできる環境づくりに貢献。日頃から学んでいるホスピタリティの精神と、スポーツツールの実践の場となっている。



Campus Sketch

点 描 キャンパス

学びがある。文化・芸術に親しむ心がある。スポーツに打ち込む輝く汗がある。緑とやすらぎがある。友と語る姿がある。そこはJ I Uキャンパス—。



スベルマンカレッジの皆様の為に

- すり足 (SURIASHI)
- 素振り (SUBURI)
- 基本打ち (KIHONUCHI)

面 (MEN)
小手 (KOTE)
明 (DOU)

Tempura Udon ¥310 440kcal	Tempura bunshimee noodles ¥310 440kcal	Tanuki Udon ¥310 390kcal
------------------------------	--	-----------------------------

キャンパス点描



城西国際大学の歩み

- 1965年 ● **学校法人城西大学設立認可**
- 1992年 ● **城西国際大学開学**
経営情報学部経営情報学科、人文学部国際文化学科開設
- 1996年 ● 人文学部福祉文化学科・国際交流学科開設。大学院人文科学研究科国際文化専攻・女性学専攻修士課程開設
- 1998年 ● 大学院人文科学研究科比較文化専攻博士後期課程開設。経営情報学研究科起業マネジメント専攻修士課程開設。留学生別科日本文化専修課程・日本語専修課程開設
- 1999年 ● 経営情報学部国際経営学科・福祉環境情報学科開設
- 2000年 ● 大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻博士後期課程開設
- 2001年 ● 経営情報学部サービス経営システム学科、人文学部メディア文化学科開設。留学生別科ビジネス・情報専修課程開設
- 2002年 ● 大学院人文科学研究科福祉社会専攻・国際アドミニストレーション専攻修士課程開設
- 2004年 ● **安房キャンパス開設**
薬学部医療薬学科開設。福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科開設（人文学部福祉文化学科、経営情報学部福祉環境情報学科）。JOSAI安房ラーニングセンター開設。JIU安房ラーニングセンター開設
- 2005年 ● **東京紀尾井町キャンパス開設**
経営情報学部総合経営学科開設（経営情報学部経営情報学科・国際経営学科・サービス経営システム学科の統合による）。メディア学部メディア情報学科開設（人文学部メディア情報学科の改組による）。大学院ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻修士課程開設。大学院福祉総合学研究科福祉社会専攻修士課程開設
- 2006年 ● 観光学部ウェルネスツーリズム学科開設。薬学部医療薬学科（6年制）開設。シニア・ウェルネス大学開学（シニア層向けコース）
- 2007年 ● 福祉総合学部福祉総合学科開設（福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科を統合）
- 2008年 ● 人文学部を国際人文学部に改称
- 2010年 ● 環境社会学部環境社会学科開設
- 2011年 ● メディア学部映像芸術コース開設。
- 2012年 ● 看護学部看護学科開設。大学院薬学研究科医療薬学専攻博士課程開設。高円宮殿下記念スポーツパークが完成
- 2013年 ● 大学院国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻、人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻開設。紀尾井町キャンパス3号棟完成
- 2015年 ● **学校法人城西大学創立50周年**
- 2016年 ● 福祉総合学部理学療法学科開設
- 2017年 ● 杉林堅次学長が就任。 **創立25周年**
- 2018年 ● 観光学部ウェルネスツーリズム学科を「観光学部観光学科」へ（2019年度から）

創立者 水田三喜男の伝記

戦後の混乱期に経済復興と成長に精力を傾けた元大蔵大臣・水田三喜男の評伝『水田三喜男伝 寒椿』（2700円）Ⅱ写真Ⅱが、学校法人城西国際大学出版会から出版されている。筆者は、元毎日新聞政治記者で最後の水田番記者だった。本書は、「人間・水田三喜男」「政治家 水田三喜男」「財政通 水田三喜男」「教育者 水田三喜男」の4部から成り、ウソをつかない、人の悪口を言わない、そんな稀有な政治家 水田の素顔を豊富なまじりで明らかにしている。

大蔵大臣と党政調会長を各7回務め、「政治家の水田」として名を馳せ

戦後の混乱期に経済復興と成長に精力を傾けた元大蔵大臣・水田三喜男の評伝『水田三喜男伝 寒椿』（2700円）Ⅱ写真Ⅱが、学校法人城西国際大学出版会から出版されている。筆者は、元毎日新聞政治記者で最後の水田番記者だった。本書は、「人間・水田三喜男」「政治家 水田三喜男」「財政通 水田三喜男」「教育者 水田三喜男」の4部から成り、ウソをつかない、人の悪口を言わない、そんな稀有な政治家 水田の素顔を豊富なまじりで明らかにしている。

旧水田家住宅

旧水田家住宅は、創立者の水田三喜男先生の生家であり、母屋、長屋門は、その生涯から安房中学校進学までの成長を見守ってきた建物だⅡ写真Ⅱ

旧水田家が存する旧曾呂村（鴨川市）は、嶺岡山脈の南麓を東から西へ通じる道を中心とした山村であ

り、嶺岡山は、わが国酪農の発祥地として知られている。

母屋、長屋門は、百数十年以上経て居り、貴重な文化財として、文化庁に登録されている。「学問を通じての人間形成」は建学の理念となった。その母胎こそ、まさに、この家屋なのである。

生家付近には外房と内房を結ぶ嶺岡林道が走り、水田先生は林道保全と郷土の活性化を願い、500本の桜を植栽した。その桜は「水田桜」として親しまれてきた。毎年春、さくら祭りが行われ、桜が植樹されている。さくら祭りに先立って「ウオーキング」が企画されている。

1905年 4月	千葉県安房郡曾呂村に出生	1960年 12月	第2次池田内閣、大蔵大臣
1912年 4月	曾呂村尋常小学校入学	1965年 1月	城西大学創立、初代理事長
1924年 3月	千葉県立安房中学校卒業	1965年 4月	城西大学開学式、初代学長（理事長兼務）
1931年 3月	旧制水戸高等学校を経て京都帝国大学法学部卒業	1966年 12月	第1次佐藤内閣、大蔵大臣
1946年 4月	第22回衆議院選挙で自由党から出馬、初当選	1967年 2月	第2次佐藤内閣、大蔵大臣
1955年 11月	自由民主党結成、初代政調会長	1970年 3月	自民党政調会長
1956年 12月	石橋内閣、通産大臣	1971年 7月	第3次佐藤内閣、大蔵大臣
1957年 2月	岸内閣、通産大臣	1972年 1月	日米首脳会議（佐藤栄作首相、水田三喜男蔵相、福田赳夫外相、田中角栄通産相）
1960年 7月	第1次池田内閣、大蔵大臣	1976年 4月	勲一等旭日大綬章叙贈
		12月	病気に急逝、享年71歳

と 薙 の う の

創立者 水田三喜男の足跡を辿る

水田が、政治家を目指す原点は敗戦だったという。「無謀な戦争で国土が荒廃し、人材が失われ、国民の力がなせるのを見て「これはいかん」と日本の再建を真剣に考えた」のだ。

1971年のニクソン・ショックから変動相場制への移行という通貨戦争は、最後の蔵相として迎えた。虚々実々の駆け引きをつまびらかにするくぐり、息をつかせない。国内の非難に耐えて、水田は「憎まれ役」の蔵相を誠心誠意務めた。

キャンパス 点 描



地域に根ざし、かつ国際的な視野を持つ人材を送り出してきた大学であるJ I Uには、様々な分野で活躍する「先輩たち、がいる。今回は6人のOG・OBに登場いただき、学生時代の思い出とともに、母校、そして後輩へのメッセージを送ってもらった。

将来は日本に戻り日本語学校を経営したい

今春卒業し、7月からタイの首都バンコクの郊外にある日本語学校のシラチャー校で専任講師として日本語を教えています。4年生の時に10カ月間、タイの東北部にある中・高校で「日本語パートナー」として派遣され、日本語を教えたのが、タイと深くかわるまじりかけでした。

敬愛大学八日市場高校を卒業しJ I Uに入學しました。学生時代は、サークル活動を熱心にやりました。留学生との交流の場を

企画する「J Bridge」のリーダーを務めながら国際ボランティア活動に関連した「国際開発研究会」でもリーダーとして活動しました。あとは学園祭ですね。副委員長として運営・会計に携わり、イベント企画、出演者との交渉などに忙しかったです。実はJ I Uは、第一志望の大学ではありませんでしたが、こうした充実したサークル活動のほか、台湾などへ短期海外研修に参加するチャンスに恵まれ、感謝しています。台湾

公認会計士試験に現役合格

2017年の公認会計士試験で、経営情報学部・会計ファイナンスコース早田ゼミナール(紀尾井町キャンパス)の4年生2人が合格。公認会計士試験は、司法試験とともに最難関の国家試験で、在学中の「現役合格」は、本学の創立以来、初めて。赤石朋也さん(埼玉県立浦和商高出身)と五十嵐寿樹さん(埼玉県立浦和商高出身)は、合格までの2大関門である短答式試験は3年時に、論文式試験には4年時にパス。2018年春、日本の代表的な4大監査法人のEY新日本有限責任監査法人、トーマツ監査法人へ就職した。

赤石朋也さん(写真右)

現在、主に上場企業や国際財務報告基準を適用している企業の監査を担当しております。業務の内容は様々ですが、公認会計士という職業は一年目から企業の部長や役員の方とお話をする機会もあり責任やプレッシャーを日々感じておりますが、それと同時に日々やりがいも感じております。また仕事を通していろいろな企業・人を知り、社会人として成長する環境がこの職業にはあると思っております。

振り返りますと高校では、あまり勉強しなかったですが、大学では、簿記をやりたい、という気持ちがありました。兄の友人が城西国際大学におり、その方が「城西国際の経営情報学部は簿記が強い」と推薦してくれました。大学のオープンキャンパスにも参加し、応対して

れた先生から「簿記だけではなく、経済・マネジメントなど広く学べる」との説明を受け、入学しました。

公認会計士試験は、簿記会計学・監査論・企業法・租税法などから問題が課せられます。大学での授業やゼミナールでは、例えば簿記にしろ、その歴史や社会的意味など深く学ぶようになっていきます。自習も大切です。ただ、それだけでは、公認会計士試験にはなかなか受かりません。試験の「傾向と対策」や受験テクニックを身に付ける必要があります。そこで授業が終了してから夕方に専門学校の2年半コース(週3回)に通いました。

試験に合格してから城西国際大学での学生生活を振り返りますと、きめ細かい指導をしてくださった先生に恵まれ、授業などでもこれまで経験できなかった大切なことを学びました。

日本スロヴェニアの国際交流を支える

一般社団法人国際交流サービス協会(International Hospitality and Conference Service Association / IHCSA)の外務省在外公館派遣員として、2016年9月から在スロヴェニア日本大使館に勤務してまいりました。この在外公館派遣員とは、労働者派遣法(The Worker Dispatching Law)の下で、大使館や総領事館などが国の在外公館に原則2年の任期をもって派遣され、館務事務補佐などの実務面にあたるとともに、国際社会での経験を積み、友好親善に寄与していただくというものです。具体的な仕事の内容は在在外公館によって異なりますが、現

在、21の公館に277名が派遣されています(2018年9月1日現在)。

私が駐在していたスロヴェニアは、1991年にユーゴスラビアとの連邦を解消、独立した新しい国です。2004年にEU加盟国になりました。首都はリュブリャナです。派遣員としてのメインの仕事内容は、館内の事務的業務や、ホテルの予約、配車、来訪者の空港送迎、市内視察などです。小さな大使館ということもあって、この他にも様々な仕事をさせていただいております。

学生時代は、普通に就職活動をしていたのですが、自分のやりたいこと、やりたい仕事

八街と大学の「架け橋」に

新潟県立新潟工業高校を卒業し、当時の人文学部(国際人文学部の前身)で福祉を学びました。尊敬していた中学の恩師が、障害児らが学ぶ特別支援学校に移り、その先生から純粋な生徒の話や、「福祉」に関心を持ちました。「福祉」をキーワードに進学先の大学を探し、城西国際大学に入學しました。

印象に残っているのは、大学2年の時にオーストラリアのシドニーでの福祉短期研修です。参加学生が20人ほどで終末医療の現場や児童養護施設などを訪れました。医療・福祉

頼られる精神保健相談員になりたい

志学館高校(千葉県木更津市)を卒業後、J I Uとは違うほかの大学に進んだが、中退。塾講師などをつとめたが、「車いす生活の祖母を父が介護している姿を見て、福祉の道に進みたいと思うようになった」と一念発起して2014年にJ I Uに入學した。福祉総合学部で精神医学論、社会保障論などを学び、精神保健福祉士や社会福祉士の国家

試験を受け資格を取ろうと努力した。昨年秋、千葉県の専門職公務員の試験を受け、合格。国家試験も今年2月に合格し、同4月から安房健康福祉センター(館山市)に勤務する。館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町が管轄だ。精神的悩みを抱える家庭から相談の電話がかかってくる。センターの嘱託の医師ら

での日本語研修は1年生の時に参加し、J I Uの提携校に行って現地の学生らと交流しました。この時から「日本語教師になって外国の方に日本語を教えたい」と思うようになりました。

タイ・シラチャー校では、平日は4コマ(1コマ50分)、夜間コースが2コマ(1コマ2時間)、週末も計3コマ(1コマ3時間)の授業があり、休校日の金曜日を含めて2日間が休日です。生徒は大学入学の準備のため通う高校生から主婦までさまざま。周辺に日系企業が集中する工業団地があり、会社から派遣され、ビジネスのため日本語を習得しようという社

所属していた早田ゼミは公認会計士を目指すきっかけになった場所でもあり、大学4年間お世話になった場所でもあります。

このゼミには先生や友達を含め自分の気持ち次第でいくらか成長する機会があるかと思えますので、在校生の方もがんばってください。

これからは、「考えて、判断する能力のある公認会計士」を目指したいです。城西国際大学の先輩にアドバイスできるのなら「環境が許す限り自分のやりたいことをやる。あきらめないで、全力で」ということです。

五十嵐寿樹さん(写真左)

母校の高校は、進学より就職する学生が多かったですが、城西国際大学に入學しました。その時は、公認会計士のことは頭にありませんでした。情報系なども含めて幅広い分野の勉強ができてほしい、この大学を選びました。大学2年が転機でした。簿記に出会い、学んでいるうちにその面白さがわかり、公認会計士になりたいと思うようになりました。それからは、週3〜4回、専門学校に通いました。1.5年コースです。大学の授業や自習をはさんで朝3時間、夕方3時間、専門学校で学んだこともあり、公認会計士の試験合格に必要なノウハウを取得しました。短答式、論文式試験の両方とも1回でパス

が何なのか、自分でもよくわかりませんでした。副専攻で学んだ日本語教員にも興味があったのですが、大学院でさらに専門的な勉強をする必要があるのでは、それにも迷いがあって。そんなとき、偶然にこの仕事の募集があったことを知りました。2年の期限付きということでしたが、いろいろなことに挑戦できそうと思い、思い切って応募しました。大学時代の学びや体験で、現在の仕事に役立っていることは、何といっても英語です。それと、私はどちらかというと内気で人前に出ることが苦手だったのですが、在学中に参加した海外研修やインターンシップでコミュニケーションの力がついたと思います。

この仕事に必要なことは、語学力はもちろんですが、日本語の表現力の大切さを痛感メフト部に加入しました。指導者もおらず、レベルは同好会程度でしたが、週5回、放課後2時間の練習を続けました。

卒業後は、八街市で障害児を対象にした「児童デイサービス」施設の開所に加わりました。放課後に子どもたちが憩える、遊べる場所がなかった。父母の負担軽減も必要です。立上げから関わったので、最初は給与も少なく深夜にアルバイトをしながらでしたが、想いを形にできたのは何よりの経験ですね。今では、施設3箇所。大学の卒業生も何人も働いています。

人生の転機としては、26歳の時に八街市の市議補選に立候補しました。福祉も含めインフラ整備など「笑顔あふれる八街にしたい」

専門家を紹介する。悩みを抱えている家庭を訪問することもある。また隣接する館山警察署から「トラブルに巻き込まれたり、保護された方が精神的な問題を抱えているようなので、相談に乗ってほしい」などの依頼も。相談員になって3カ月。「わからないことだらけです。地域保健課の上司や先輩から、毎日たくさんことを学んでいます」。J I U在学中は、台湾、アイルランドの短期研修を経験した。提携校の米国・カリフォルニア大学リバーサイド校にも。卒業論文は



石毛 孝明
2018年3月 国際人文学部国際交流学科卒業
タイ・シラチャー校(日本語学校)専任講師

会人もおります。「あいうえお」から始まり、作文演習まで受講生は熱心に日本語を習得しています。

夢は、こうした経験をさらに積み、将来は日本に戻って日本語学校を自分で経営することです。いまは、雑務も多く忙しくて大変ですが、夢を実現させたい、と思っております。



EY新日本有限責任監査法人
赤石 朋也
トーマツ監査法人
五十嵐 寿樹
2018年3月 経営情報学部卒業

できました。専門学校での学びが大きかったと思いますが、なによりも城西国際大学で簿記に出会ったことが合格の始まりです。「大学から公認会計士になるきっかけを与えてもらった」と感謝しています。

監査法人に入ってから目指す公認会計士像は、「不正を見逃さない、嘘をつかない」ということが第一です。そして、例えば自治体の監査など強い専門分野を持つ公認会計士になりたいです。

大学の後輩からは「考えることを大事に」といメッセージを送りたいです。与えられたものだけでは足りません。考えて自分で何かをつくりだすことです。考えること——いま大学時代を振り返ると、これが公認会計士試験に役立ったと感じます。



山本 真由
2017年3月 国際人文学部国際交流学科卒業
国際交流サービス協会・在外公館派遣員

しました。例えば、スロヴェニアについて英語で情報を集めることはできても、日本語で適切に表現できないと、日本の方々には十分に伝えることはできません。

スロヴェニアでは、趣味の剣道で地元の人たちと交流していました。子どもの頃からやっていた剣道3段なのですが、大学入学後は中断していました。それが、偶然のきっかけからスロヴェニアで再開することになりました。お隣のクロアチアの道場にも遠征しました。



山口 孝弘
2003年3月 人文学部福祉文化学科卒業
八街市議会議員

という気持ちで、自転車1台で選挙活動しました。今では支援者も増え「福祉の山口」から、「八街の山口」になりました。現在4期目に突入しましたが、八街市は人口減が続いており、課題が多い。「視野の広い、総合的な目」を持ち対応しています。

城西国際大学の同窓会副会長でもあります。妻の美紗は大学の同期生です。八街と大学の「架け橋」になれたら、と思っております。



猪野 浩史
2018年3月 福祉総合学部福祉総合学科卒業
安房健康福祉センター地域保健課
精神保健福祉相談員

「イタリアの精神保健福祉」。イタリアが精神保健福祉に関して、もっとも進んでいる、という。安房で多くの経験を積み、将来は「頼られる精神保健相談員になりたい」と話す。

インタビュー 鹿間 陸郎 東金市長



（略歴）1950年生まれ。東金市出身。千葉県市役所職員などを経て2018年4月から東金市長。

「4月の東金市長選挙での当選、おめでとうございます。市長は今後の市政の方針として『地域振興』を掲げておられます。これまでも東金市は、地域振興・活性化のための方策の一つとして城西国際大学との協力、提携を進めてこられました。東金市にとって大学の存在とはどういったものなのでしょうか。」

「この地域には、総合大学はJIU以外にありません。JIUは、九十九里地域全体の『知の集まり』『知の拠点』です。東金市の総合計画審議会や企業誘致審査会など各種の委員を貴学の先生に委嘱したり、様々な分野で、ご指導をいただいております。学生の皆様も小学生への学習支援について協力をいただいております。また、開学（1992年）以来、社会貢献活動も活発です。水田美術館、水田記念図書館などを地域住民に開放し、地域に開かれ、地域に根ざした大学として存在感、信頼感を高めております。心からお礼申し上げます。」

「本学は『地域に密着した国際大学』を目指してきました。東金市とは、幹部合同懇談会をたびたび開くなど意見を交換しながら関係は広く、深まっております。」

「本学の杉林堅次学長は、少子高齢化が進む中で『大学と地域社会は『運命共同体』だ』とさえ申しております。」

「わたしも東金市とJIUは『運命共同体』だ、と考えております。いまやわが国は、人口減少と少子高齢化が急速に進んでいます。この千葉県・外房地域でも人口減少が心配です。地方創成のためには、何よりも若い方々に住んでいただくことが肝要です。貴学のおかげで国道沿いの商業施設は増えています。グローバル化が進む中で1000人を超える留学生が学ぶ総合大学があることは、地域の財産です。今後は、留学生を含めた学生の皆さんがこの地域で暮らしていけるように雇用・住環境の整備や子育て支援策などに力をいれていきたい。」

「看護学部の学生が、東金九十九里地域医療センター（東金市）から奨学金をいただいで毎年多数の卒業生が、東千葉メディカルセンターに奉職しております。看護学部設置は、地域の医療・看護の向上にメリットはございます。また、同センターの健全経営が課題となっておりますが、どう取り組めますか。」

「千葉県は慢性的な看護師不足が続いています。なかでも東金地域・周辺は、看護師需要が高くなる

人材の確保は重要課題です。看護を希望した貴学の学生が地元でのメディカルセンターに就職することは、地域の医療水準の向上だけではなく、地域の活性化にもつながります。貴学で学んだ学生たちは、『看護師としての素養が高い』との評判です。今後大きく羽ばたいてほしいと願っております。東千葉メディカルセンターは、市民生活に欠くことのできない施設です。今後とも持続可能な運営ができるように経営改善に向けた支援を行ってまいります。」

「本学では、学部の特徴を生かした『福祉』『看護』『薬学』の連携による地域貢献、を目指しています。市長は、この連携による地域貢献を期待しておりますか。具体的には、どのような分野で貢献できると見えていますか。」

「市民の健康増進に向けたシニアウエルネス大学の開講や医療・福祉を志す若者と地域が抱える課題を考えるセミナー開催、JIUは、蓄積された知的・人的資源を用いて地域福祉の課題に積極的に取り組んでいます。今後も医療・福祉部門について大学の英知を十分に生かしていただき、行政・住民・医療機関・教育機関などの連携を深めていきたい。」

「東金市役所に入り、業務に励んでいる本学の学生も目立ちます。こうした卒業生の進路や在校生、留学生らとの交流・関係について最後に今後の大学との連携についてご意見をお聞かせください。」

地域とともに

本学と東金市の官学連携事業 機能別学生消防団 結成

千葉県東金市との官学連携事業の一環として、機能別学生消防団（26名）が結成され、9月19日、東金キャンパスで東金市消防団の辞令交付式「写真」が行われた。台風や地震など自然災害が頻発する今日、地域防災の中核を担う消防団員数の減少は東金市においても深刻な事態になっており、学生消防団の結成は喫緊の課題だった。

学生消防団員は、平時は救命講習や消防団のPR活動、防災訓練などをメインとして活動し、災害時には避難所の運営補助等にあたり、災害に強い安全で安心なまちづくりに取り組んでいく。



また、この日、秋季入学生オリエンテーションの一環として、地震発生を想定した避難訓練を実施した。

千葉県「宮町」との包括連携協定締結 2020年に向け幅広い分野で協力

JIUは、千葉県「宮町」と2018年1月31日、2020年東京五輪・パラリンピックに向け、地域振興や人材育成、地域資源を活用したまちづくりなどで協力するための包括連携協定を締結した。幅広い分野での人材活用などにより学生の成長やまちづくり推進を図る。東京オリンピックでは、一宮町がサーフィンの会場となることから、本学サーフィン部を中心としたスポーツ団体のほか、海外からの訪問者対応や国際交流支援、大会運営ボランティア支援など、多岐にわたる交流が期待される。この日は町役場で馬淵昌也町長と杉林堅次学長が協定書を交わした。馬淵町長は「東京五輪は町が大きく飛躍するきっかけとなる。学術の高い見地からのサポートは心強い」と述べ、杉林学長は「地元を愛され、貢献できる大学として大会後も末永い付き合いをしていきたい」と話した。



協定書を掲げる馬淵町長（左）と杉林学長

本学留学生と高校生の交流会 匝瑳高校の生徒たちと楽しく英会話

8月2日、中国語・韓国語を学んでいる千葉県立匝瑳高等学校の生徒12名が、城西国際大学千葉東金キャンパスに来学し、本学で学ぶ中国人・韓国人留学生らとの交流会を開催した。写真。



中国語と韓国語の2つのグループに分かれて、自己紹介やマンツーマンでの英会話の練習などが行われ、楽しみながら交流を深めることができた。

「鴨川DEクルージング」開催 心地よい海風受け「ステキな海の日」

7月16日の海の日、道の駅「鴨川オーシャンパーク」との連携企画である「鴨川DEクルージング」を開催した。30度を超える猛暑の中、心地よい海風を受け、夏本番を感じるクルージングとなった。乗船いただいたお客様からは、「ステキな海の日になった」、「学生ガイドの案内が良かった」、「また乗りたい」などの声も。学生たちにとっては、イベントの運営やガイドの実施など、現場での実践力を高める機会となった。「道の駅プロジェクト」は、2015年



「鴨川DEクルージング」のポスターを掲げ笑顔の学生たち

東金の歴史散歩 ① 「東金のあけぼの」——最古の住居跡は7000年前

「東金市には、現在、卒業生12人が働いています。今年度も看護学部から保健師として一人採用しています。中間管理職として尽力している職員もおります。将来は市役所の幹部になる職員も出るでしょう。期待しています。」

また、貴学の学生をインターンシップとして、職業体験や看護実習をしてもらっています。学生と市を結ぶ橋渡し役になっています。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開かれ、千葉県内には、その競技会場もあり、多くのボランティアが必要で、JIUの留学生に期待したい。今日の社会は連携・協働の時代を迎えています。今後とも市と大学が様々な知的・人的財産を活用し、連携と協働を推進させ、地域の活性化を図っていきましょう。」

城西国際大学のある千葉県東金市は、九十九里平野の房総台地との境界に位置し、農業・商業等の産業を中心に発展してきた山武郡の中核都市である。その歴史を『東金讃歌』など東金市発行の資料などをとにたどりた。

「東金のあけぼの」——最も古い住居跡は縄文時代早期、約7000年前と思われる遺跡が発見されている。縄文時代中期のカップの形をした土偶が完全な形で出土されている。また、道庭遺跡からは、弥生文化を示す資料が多く発見され、同時代の山武地域において中核であったと考えられている。古墳時代になると、遺跡数が増え、家之子古墳群をはじめとする14の古墳群が残る。そして万葉集の時代。JIUの東金キャンパスにも「万葉の杜」があり、万葉集ゆかりの植物が植えられ、散策路になっているが、

8世紀に活躍した万葉の歌聖、山部赤人は、東金生まれと伝えられている。「赤人像」も発見されている。9世紀初頭には仏教文化が伝わり、最福寺が創建され、以来、多くの仏閣、神社が建立されたと伝わる。

東金の礎が築いたのは、室町時代の酒井氏、と言われている。土気城主・酒井定隆が東金を支配し、領域全体が日蓮宗になったという。東金酒井氏は五代にわたってこの地を治めた。城下町として現在の街並みの原型が築かれたのはこの時代だった。

ところで「東金」の名前について、である。「鶴ヶ嶺」「鶴が根」がルーツか。いずれも「ときがね」と読む。市発行の資料の年表には「1166年 鶴ヶ嶺城に千葉介氏族居住す」と書かれてある。現在、旧名に由来するとみられる鶴ヶ嶺小学校がある。

同窓会から

□問い合わせ
☎0475-53-2141
(月～金 9時～17時 ※ただし火曜休)

城西国際大学の同窓会は、第1期の卒業生を送り出した1996年に創設され、同窓生の数は今や、18000人に達している。在学生への支援、キャンパスの整備など、母校のサポートはもとより、ホームカミングデーを開催するなど同窓生と大学とのより強い結びつきを目指している。

近年は、支部設立を目的に各地区で同窓会を開催したり、特別に会員が集まれる場所を提供したりするなどして、会員相互の親睦をはかる取り組みも盛んに行われている。

同窓会事務局は、東金キャンパスの本部棟4階にある。

城西国際大学 同窓会・青柳吉彦会長 ごあいさつ



城西国際大学は、勉学はもちろんですが、すばらしい設備のもと、野球部、サッカー部などをはじめとする運動部や、恵まれた環境を活かした文化部などの課外活動が盛んに行われています。

同窓会は18000人を超える同窓生の力を結集して母校の発展・名声高揚のお手伝いをしております。また、国際大学らしく海外の卒業生達も積極的に活動しています。

奨学金制度一覧

名称	種別	内容	対象
水田奨学生制度	給付	●優れた能力の伸長と有為な人材の育成を目的として設けられた制度です。成績優秀者で、建学の精神「学問による人間形成」を体する学生を「水田奨学生」、「学習奨励生」及び「成績優秀者」として表彰いたします。「水田奨学生」として選出された者には、奨学金を授与します。	成績・人物が優秀な学生
水田国際奨学生制度	給付	●学生の国際的な学びを奨励することを目的として、提携校への海外留学を経済的に支援する制度です。成績優秀者で、建学の精神を体する学生を「水田国際奨学生」として表彰し、奨学金を授与します。	JEAP制度を利用して海外へ留学する学生
学校法人城西大学経済支援特別給付奨学金制度	給付	●本学の学部生で修学の意志があるにもかかわらず、入学後、家計支持者(学費負担者)のやむを得ない事情による失職または廃業、会社倒産、自己破産等により家計が急変し、学費納入または学業の継続が困難な学部生を支援することを目的として設けられ、選考のうえで奨学金を給付します。	本学に在籍する学部生 (外国人留学生授業料減免の出願資格を有するものを除く)
看護学部奨学金<病院・自治体>	貸与	●卒業後、指定病院に勤務することを前提とした奨学金です。指定病院に貸与年数以上勤務することにより返還が免除されます。 ●金額は病院により異なりますが、多くは年間100万円以上となっています。	看護学部 ※各病院が独自に定める選考があります。
鴨川市人材育成支援制度<授業料減免>	給付	●入学前に鴨川市に1年以上居住し、観光学部に入学する場合、4年間の授業料30%を減免します。(総額924,000円)	入学前に鴨川市に1年以上居住し、観光学部に入学した者
南房総地域人材育成支援制度<授業料減免>	給付	●入学前に南房総地域※に1年以上居住し、経済的に修学困難と認められる者が観光学部に入学する場合、4年間の授業料30%を減免します。(総額924,000円) ※南房総地域は、南房総市、館山市、鋸南町、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市、大多喜町、勝浦市、御宿町、いすみ市となります。	入学前に南房総地域に1年以上居住し、観光学部に入学した者。かつ、家計支持者の前年度年収が500万円以下、または兄弟が大学に在学中の第2子以下の場合には年収が800万円以下の場合に申請資格を有します。
社会人のための特別奨学生制度	給付	●修学期間を4年間として卒業をめざす場合に限り4年間の授業料および施設設備費を50%減免します。	AO方式による社会人入学試験に合格した者 ※看護学部、薬学部、福祉総合学部理学療法学科では実施していません。

★特待生制度の詳細については本学Webサイトをご確認ください。※奨学制度の内容は、今後変更となる場合があります。

東京国際映画祭 日本映画スプラッシュ部門に

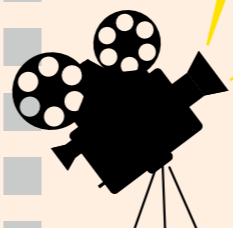
でかした先輩

卒業制作『海拔』

たかはしけんせい
高橋賢成さん

2018年3月
メディア学部卒業

奇をてらうことはない。
いまがチャンスだ(高橋さん)



を描いてい

12年間に
かつた男の
動できな
及ぶ苦悩

2018年3月にメディア学部を卒業した高橋賢成さんの卒業制作『海拔』が、9月25日、東京・六本木ヒルズで開催された第31回東京国際映画祭の日本映画スプラッシュ部門で選出された。

日本映画スプラッシュは、若手監督の登竜門とされ、選出されるのは、ほとんどが30代のプロの若手監督の作品だ。その意味でも22歳の高橋さんの作品が選出されたことは、快挙である。また、選出された8作品のうち7作品は配給会社がついている。リリー・フランキーさん出演の武正晴監督の作品『銃』、加瀬亮さん、大森南朋さん出演の野尻克己監督『鈴木家の嘘』をはじめ、キネマ旬報ベスト・テンに食い込みそうな作品ばかりのなかで、高橋さんの作品は、卒業制作としての純粋な自主制作作品としての挑戦だった。

『海拔』は、高校時代に中学の同級生が暴行されているのを目の当たりにしながら、何も行動できな

高橋さんは、10月14日、紀尾井町キャンパスでの大学祭でトークショーに出演した。

トークの相手は高橋さんと同様に、東京国際映画祭の日本映画スプラッシュ部門に自主映画作品「月極オトコトモダチ」が選出された穂山菜由さん。

紀尾井町・大学祭でライバル・トーク



穂山菜由さん(左)と語り合う高橋さん

「『海拔』は東京国際映画祭(10月25日～11月3日)において上映された。

掛尾良夫メディア学部部長は「大学時代の彼は、私の言う事の半分は聞かなかったのですが、それが今回の選出の理由ではないかと……」とコメント。

高橋さんは、1996年、北海道北見市生まれ。小学生の頃に発掘したVHS-Cカメラがきっかけで映像の道に。意味のわからない映像を撮っていくうちに、

意味のわかる物語を撮りたいと思うようになり、映画監督を志した。メディア学部に進学し、映画の勉強を始めるが、東京の名画座に入り浸る。

高橋さんはインタビュー写真で後輩たちに映画製作についてこうアドバイス。「奇をてらうことはない。プロのように撮らなくてもいい。学生映画の水準は、一部は非常に上がっているが、平均的には下がっていると思う。いまがチャンスだ」

新 施設の紹介

JIUは、学生たちのキャンパスライフがより豊かになることを願い、充実したアカデミック環境をつくり続けることを目指しています。ここでは、東金キャンパスにデビューした新たな施設・設備をまとめて紹介します。

「グラウンド」が美しくリニューアル

グラウンドが新たにソフトボール場、陸上競技のトラックとしてリニューアル。ソフトボール場は人工芝で、周囲には300坪のトラックも整備した。



「水田記念球場」にロッカールーム新設

最新の設備が備わったトレーニングルームと、広々としたロッカールームが新設され、より便利になった。各選手への能力・技術アップに貢献してくれよう。



サッカー場の隣接広場が美しいピッチに

高円宮殿下記念スポーツパークのサッカー場に隣接する広場が、人工芝ピッチとしてリニューアル。サッカー部の練習などに活用されている。



「LIB CAFÉ」オープン



9月1日より、H棟1階ネットラウンジ内にオープン。文化・情報発信施設となる水田美術館、水田記念図書館に囲まれて落ち着いた雰囲気読書を楽しまることができるカフェ。コーヒー、紅茶ソフトドリンクのほか、パンやソフトクッキーなども販売している。

「キャリア形成・就職センター」がさらに頼もしく



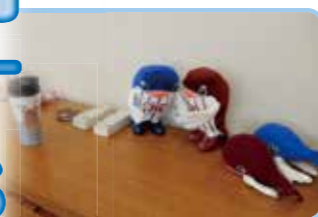
F棟1階に移転し、資格取得キャリア形成のサポート体制がさらに充実。将来の進路や職業を考えるために学生たちが、気軽に利用できるスペースとして、多目的スペース（イベントコーナー、企業・業界研究、進路相談）を新たに設けた。そのほか、カウンセリングスペース相談コーナー）やセミナールームなど、就職力アップを図るための相談や講座の受講ができるようになっている。

スケールアップした「紀伊國屋書店」



「ふうてラス」の2階に移転してオープン。教科書や雑誌などの取り扱いがさらに充実した。

大学 Goods



「JIUグッズ」は、こんなにたくさんあります(写真)。記念にどうぞ。大学祭などの行事に合わせて「JIUグッズ」の販売所を設けています。問い合わせは、総務課(0475-55-8800)へ。

▶ブルガリアンウォーター(※)



▶ローズクリーム(※)



▶リップバーム(※)



▶ウッドペンホルダー



▶ワールドクロック



▶メモ帳

▶メジャー



▶スプーン



▶ペンケース



▶六玉川タンブラー

※「ブルガリアンウォーター」「ローズクリーム」「リップバーム」の3点は 杉林学長の研究開発商品です。「リップバーム」は文房具の筆ペン容器からヒントを得、化粧品容器を作りました

父母後援会から

父母後援会・阿部浩明会長

ごあいさつ



JIUの父母後援会は、大学と保護者との相互理解を深めるため、活動しています。各地で父母地区懇談会も開いています。この地区懇談会が父母後援会の一番大きな事業です。保護者は日頃、大学と疎遠になり、自分の子供たちが通うキャンパスで教職員と接触する機会を持つことはなかなか難しいのが実情です。地区懇談会は、いわば「出張キャンパス」です。

JIUは実技・実習においても基礎

地区懇談会

地区懇談会は、保護者の方との相互理解の場として、全学部から教員が各地区を訪れ、本学全体の教育への取り組みの紹介や、学部ごとに分かれて学部教育についての説明、個別相談を行っている。また出張オープンキャンパスも開設し、受験生の個別相談も行っている。

2018年6月9日の神奈川地区父母懇談会(横浜市)をスタートとして、10月21日の栃木地区懇談会まで、10地区の懇談会を開催した。いずれも開催地近隣の保護者の方が多数参加した。最後の千葉・東金キャンパスで行わ

がしっかりとっており、安心して学べる大学です。スポーツ、文化活動も盛んで、体育館、高円宮殿下記念スポーツパークなど千葉県屈指のスポーツ施設も整っております。

父母後援会は、大学と一体となって、子どもたちの教育向上のために、さらに良きJIUにしていこうと、努めております。父母と大学・教職員を結び架け橋役を目指しています。

れる懇談会は、12月1日(土)に開催。



全体会であいさつする杉林学長



発足式の後、記念撮影に納まる各学長と自治体関係者ら

多様な高等教育提供へ 城西大学がリーダー校

これまでも大学と自治体、企業との連携はあったが、個別の連携であったり、またコンソーシアム(機関・会議)を組織しているケースであったりと、大きなビジョンに基づいた将来的な課題への対応というものではなかったのが実情だった。例えば城西大学も参加する「彩の国大学コンソーシアム」は、単位互換制度、公開講座、共通SDをテーマに大学間連携の組織として設立されたが、自治体の間

地域を盛り上げるモデル発信
「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム」(TJUP)が発足した。参加したのは城西大学・城西短期大学をはじめ、明海大学、日本医療科学大学、埼玉医科大学、大東文化大学、女子栄養大学など17大学・短大。自治体は坂戸市をはじめ熊谷市、東松

東武東上線沿線と西武線沿線の大学、自治体、企業が連携を強めて地域の活性化や少子高齢化問題の解決などを目指す「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム」(TJUP)が発足した。参加したのは城西大学・城西短期大学をはじめ、明海大学、日本医療科学大学、埼玉医科大学、大東文化大学、女子栄養大学など17大学・短大。自治体は坂戸市をはじめ熊谷市、東松

山市など13市町。9月14日に代表校の東京電機大学の埼玉鳩山キャンパスで行われた発足式には、城西大学の白幡晶学長、玉城逸彦副学長らが出席した。東京電機大学の安田浩学長が「こんなにとくさん集まってやるのは初めての試み。ここから発信していく流れがくれるのでは」と開会挨拶。幹事校である城西大学の白幡学長は閉会挨拶で「地域を変え、盛り上げる一つのモデルになるのではないかと述べた。

新グラウンド地鎮祭・起工式 2020年秋完成へ
サッカー場2面、ソフトボール場1面など備える

城西大学の北側約2キロの毛呂山町下川原沼下II写真IIに新グラウンド「下川原グラウンド」(仮称II第2グラウンド)が整備されることになり、9月5日に現地での工事の安全を祈願して地鎮祭と起工式が行われた。サッカー場2面とソフトボール場1面などを備え、2020年秋の完成を目指す。敷地面積は約5万5500平方メートル。整備されるのはサッカー



「下川原グラウンド」の完成イメージ

間照明、駐車場など。鉄骨造り2階建て延べ床面積約720平方メートルの管理施設には、更衣室やシャワー室、監督室、ミーティングルームなどを備える。河川と町道の付け替えなど敷地造成の1期工事の後、グラウンド造成の2期工事に入る。

題解決や企業連携に関する取り組みには適さないところもあった。TJUPは、彩の国大学コンソーシアムのメンバー校が中心となっているため単位互換制度など既存の協定を引き継ぐことが可能で、さらに地域と企業とも協力し合うことで地域活性化に取り組んでいくことが可能となる。

取り組みの大きな柱は、多様な高等教育の提供▽生活しやすい地域づくりへの貢献▽地域産業の活性化の3本。それぞれについてワーキンググループ(WG)を立ち上げて検討し、その成果を各々が共有する仕組み。このう



ち、多様な高等教育の提供のWGでは城西大学がリーダー校となつて、IPE(専門職連携教育)・IPW(多職種連携)プログラム発展的展開を検討する。また、別のWGでは、社会人教育を対

象に各大学が開設する履修証明プログラムを紐づけることにより、分野横断型の多彩な学習プログラムを構築して、市民・町民大学に提供することも検討していく。生活しやすい地域づくりへの貢献では、地域リスクマネージメント懇話会の立ち上げや課題解決のための共同研究に取り組む。

ここが魅力

「韓国語」「国際文化」の2コース開設

日韓相互理解のリーダー人材育む



国際人文学部国際文化学科では、2019年4月、「韓国語コース」「国際文化コース」の2コースを開設。「韓国語コース」では、1年次より韓国と関わる「言語」「文化」「社会」と学科の科目について学び、日韓相互理解のリーダーとして活躍し、よりよい社会づくりに貢献できる人材を育む。

開設科目は、韓国語コミュニケーション、韓国語検定演習、韓国の歴史、韓国文学の世界、韓国現代文化、日韓比較文化、日韓翻訳技法、日韓通訳技法、韓国語プロジェクトなどだ。「韓国語コース」の特徴は、韓国語が使用されている地域・世界・つまり、韓国はもちろん、韓国・朝鮮をルーツとする人々が住みその社会が構成されている米国、豪州、中国、日本など

また、「国際文化コース」は、異文化理解、世界の中の日本、ジェンダー論、社会学入門、比較文化概論、日本文学概論、日本の文学(古典・近代)、日本語学概論、日本の歴史、アメリカ文学概論、日本の現代文化、ラテンアメリカの歴史、文化交流史などを学ぶ。さらに、研修や留学を通じて広く世界の大学生などとの交流を勧める。

あたらしく衣替える国際文化学科について担当の先生らは「国際文化学科では、多様な『言語』、『文化』、『社会』について経験しながら学べます。問題意識を持ち、解決のために遂行し、その結果を振り返る。国際文化学科では、本質を見極める思考を持つことに力を入れています。韓国語コースを例に挙げると韓国語という言語やその背景にある文化だけではなく、この本質的な思考が社会で生かされると思っと思っています」と説明する。

国際人文学部国際文化学科では、2019年4月、「韓国語コース」「国際文化コース」の2コースを開設。「韓国語コース」では、1年次より韓国と関わる「言語」「文化」「社会」と学科の科目について学び、日韓相互理解のリーダーとして活躍し、よりよい社会づくりに貢献できる人材を育む。

開設科目は、韓国語コミュニケーション、韓国語検定演習、韓国の歴史、韓国文学の世界、韓国現代文化、日韓比較文化、日韓翻訳技法、日韓通訳技法、韓国語プロジェクトなどだ。「韓国語コース」の特徴は、韓国語が使用されている地域・世界・つまり、韓国はもちろん、韓国・朝鮮をルーツとする人々が住みその社会が構成されている米国、豪州、中国、日本などとの交流を勧める。

また、「国際文化コース」は、異文化理解、世界の中の日本、ジェンダー論、社会学入門、比較文化概論、日本文学概論、日本の文学(古典・近代)、日本語学概論、日本の歴史、アメリカ文学概論、日本の現代文化、ラテンアメリカの歴史、文化交流史などを学ぶ。さらに、研修や留学を通じて広く世界の大学生などとの交流を勧める。

あたらしく衣替える国際文化学科について担当の先生らは「国際文化学科では、多様な『言語』、『文化』、『社会』について経験しながら学べます。問題意識を持ち、解決のために遂行し、その結果を振り返る。国際文化学科では、本質を見極める思考を持つことに力を入れています。韓国語コースを例に挙げると韓国語という言語やその背景にある文化だけではなく、この本質的な思考が社会で生かされると思っと思っています」と説明する。

Coffee time 談話室

学校法人城西大学 大石化石ギャラリー学芸員 宮田 真也さん(33)



幕張の化石を手に説明する宮田さん

外国産魚類化石の展示数は全国トップクラス

とも同大学院の修士・博士課程で創造理工学研究科地球・環境資源理工学専攻(長いですね……)で研究をしていました。2016年4月からここで学芸員をしています。専門は魚類化石の分類学です(日本では絶滅危惧種となりました)。

—本学の化石化石ギャラリーの見どころ、魅力は?—

「ブラジルおよびレバノンで採集された約1億年前の白亜紀の魚類化石を中心に展示しています。保存状態が優れています。ワニ類の絶滅種の全身骨格化石は、世界で2点だけしか存在が確認されていません。シーラカンスなど魚類の化石は150点以上もあり、外国産魚類化石の展示数は、全国でもトップクラスでしょう」

—子どもたちが熱心に化石を観察している姿を見かけます。—

「春・夏・冬休みの期間中に子どもたちを対象にワークショップを開いています。ギャラリー内には、直接、触れることができる化石もあります。いまのサメの歯と化石を比べてみたり、塩原(栃木県)の化石やモロッコ産の化石を子どもたちに割ってもらいます。大人の見学者も多く、本場のブラジルからの研究者も来ますよ」

—いま熱中していることは?—

「千葉の幕張の海岸で漂着物を集めることです。漂着物の中に8000年から1万年前とみられるサメの歯、貝類、カニなどの小さな化石が混ざっている。東京湾のしゅんせつ工事で海底から出てきたものでしょうか。遠くまで発掘に出かけなくとも身近なところに貴重な化石がたくさんあります。また、本学のギャラリーを含め、各地の博物館などで収蔵されている化石の中で未研究のものが多数ありますので、そちらを中心に研究し、成果が出れば学会で発表したり論文を投稿したりしています」

—化石や恐竜に興味を持ったのはいつごろですか。—

「小学2年の時に恐竜のおもちゃを買ってもらい『こんな面白い生き物が古昔にいたのか』と思いました。恐竜展にも行きました。幼稚園のころはサメ(鮫)が好きで、実はサメ学者になりました。乗り物も好きで新幹線の流線形車両が鮫の形に見えたのでしょ」

—本格的な研究を始めたのは。—

「早稲田大学教育学部理学科地球科学専修で地質学を学び、そのあ

告知板

【今年度の主要行事】

- 11月3日(土)・4日(日) ■第27回大学祭「JIUフェスティバル」
テーマ:「軌跡 ～We explore the future～」
- 11月18日(日) ■観光学部 ウェルネス交流Day
- 12月1日(土) ■父母後援会・千葉全国懇談会(東金キャンパス)
- 12月22日(土) ■授業終了
- 1月7日(月) ■授業再開
- 3月15日(金) ■学位授与式・卒業式

新設 J特待生制度

GLOBAL教育を体現する意欲を有し、本学が指定する英語能力を有する者で、指定校推薦、公募制推薦1期・2期に出願できる者を対象に海外留学派遣を目的とする特待生制度を実施します。

【対象学科】国際人文学部国際文化学科／国際人文学部国際交流学科／観光学部観光学科／経営情報学部総合経営学科／メディア学部メディア情報学科

授業料半額免除(最大4年間の適用可)…募集定員**50名程度**

- 選考方法:各学科の指定校推薦、公募制推薦の選考終了後、別途、「本学指定のテーマ(募集要項に記載)を英語でスピーチと質疑応答」
- 選考会場:千葉東金キャンパス(観光学部を除く全学科)／東京紀尾井町キャンパス(経営情報学部・メディア学部・観光学部)／安房キャンパス(観光学部)

【対象学科】薬学部医療薬学科

- 選考方法:科学基礎テスト、面接(一部、英語での会話を含む)
- 選考会場:千葉東金キャンパス

2年間の授業料半額免除…募集定員**10名程度**

新設 福祉科ステップアップ特待生制度 (高校福祉科生のためのステップアップ特待生制度)

介護福祉士国家試験受験可能な教育課程を設置する高等学校を卒業見込みの者で、当該年度に介護福祉士国家試験を受験する予定で、指定校推薦、公募制推薦1期・2期に出願できる者(全体の評定平均値が3.0以上でエントリー可)を対象に実施します。

【対象学科】福祉総合学部福祉総合学科

- 選考方法:書類審査、面接
- 選考会場:千葉東金キャンパス

授業料半額免除(最大4年間の適用可)…募集定員**30名程度**

2019年度特待生入試

本学ならびに学部・学科のアドミッション・ポリシーを体現する意欲を有し、2019年度一般入学試験(A日程)で成績上位合格者に対して授業料を免除します。

■看護学部看護学科

4年間授業料全額免除(S特待生)…募集定員**3名**
4年間授業料半額免除(A特待生)…募集定員**3名**

■薬学部医療薬学科

6年間授業料全額免除(S特待生)…募集定員**5名**
6年間授業料半額免除(A特待生)…募集定員**8名**

■福祉総合学部理学療法学科

4年間授業料全額免除(S特待生)…募集定員**4名**
4年間授業料半額免除(A特待生)…募集定員**4名**

■福祉総合学部福祉総合学科／経営情報学部総合経営学科／メディア学部メディア情報学科／国際人文学部国際文化学科／国際人文学部国際交流学科／観光学部観光学科の6学科合計(各学科・コースで最大4名以内)

4年間授業料全額免除(S特待生)…募集定員**10名**
4年間授業料半額免除(A特待生)…募集定員**10名**

- 選考会場:千葉東金キャンパス／東京紀尾井町キャンパス
- ※一般入学試験A日程の選考科目・選考方法・時間割については、各学科の2019年度学生募集要項を参照してください。

▶特待生入試の選考対象科目の詳細については、本学HP (<https://www.jiu.ac.jp/>) の【特集】コーナーにある「**2019年度特待生制度を実施します**」(<https://www.jiu.ac.jp/features/detail/id=2599>)でご確認ください。

発行:2018年11月
編集:学校法人城西大学 広報センター
発行者:城西国際大学 総務課
〒283-8555
千葉県東金市求名1番地
TEL:0475-55-8800

HP <http://www.jiu.ac.jp/>

【編集後記】
城西国際大学は、2022年に創立30周年を迎える。地域と密着化する国際的な総合大学として発展してきた。2017年に広報誌『学ぶ』を発刊することができた。今回、その2号目になるが、30歳に紹介したように30周年を記念して、これまでの「歩み」をまとめた冊子「JIUヒストリー」を発刊する予定だ。
広報誌『学ぶ』も年2回発行に増やし、来週号から「JIUヒストリー」を年代別に分けて連載する方針だ。
(発行:総務課)



本学の創立からの歩みを振り返る

JIU ヒストリー 1992

本誌次号(2019年春発行予定)からスタート!

城西国際大学は1992年に創設されました。2022年には創立30周年を迎えます。広報誌「学ぶ」では、次号(2019年春発行予定)から創立時を起点として、一定期間ごとにその大学の歩みを振り返る連載「JIUヒストリー」をスタートさせます。それが積み重なっていくことで最終的に「大学の歴史・小冊子」としてまとめる予定です。右記のような概要でお届けします。

- ◆1992年～95年
開学までの経緯。経営情報学部経営情報学科と人文学部国際文化学科の開設。当該期間の学術成果、スポーツの成績、地域連携など
- ◆1996年～97年
人文学部福祉文化学科・国際交流学科、大学院人文科学研究科国際文化専攻・女性学専攻修士課程の開設。当該期間の学術成果、スポーツの成績、地域連携など
- ◆1998年～99年
大学院人文科学研究科比較文化専攻博士後期課程、経営情報学研究科起業マネジメント専攻修士課程、留学生別科日本文化専修課程・日本語専修課程、経営情報学部国際経営学科・福祉環境情報学科の開設。当該期間の学術成果、スポーツの成績、地域連携など
- ◆2000年～
地域に根差す国際大学、総合大学への発展の歩み

こんな発行物も

化石にさそわれ数億年前の世界へ 絵本『空想化石はくぶつかん』

水田記念博物館大石化石ギャラリーの学芸員が全面協力

[定価]本体1,800円+税
[問い合わせ先]03-6238-1521
(学校法人城西大学出版会)



絵本作家として活躍している森洋子先生が水田記念博物館大石化石ギャラリーから着想を得た絵本『空想化石はくぶつかん』が、学校法人城西大学出版会から発行され、発売中だ。化石にさそわれて、数億年前の世界を子どもが空想する物語。鉛筆で描かれた森洋子先生の絵と、化石ギャラリーに展示されている化石の写真が組み合わせられた絵本で、巻末には作中に登場する化石標本の図鑑が付いている。化石ギャラリーでは、展示している大石コレクションや中国の瀋陽師範大学・遼寧古生物博物館から寄贈された化石標本の写真に加え、学芸員が古生物学の内容を考証し、絵本の制作に全面協力した。

貧困削減を行うNGOの活動 『だれも置き去りにしない』

国際アドミニストレーション研究科の久米五郎太特任教授が監訳

[定価]本体1,800円+税
[出版社]文真堂
[監修・訳者]久米五郎太(国際アドミニストレーション研究科特任教授、NPOポジティブ・プラネット・ジャパン副理事長)



ガワッド・カリンガは「だれも置き去りにしない」をモットーに貧困削減の活動を行うフィリピンのNGO。30代前半のイギリス人ジャーナリストが一年をかけ、NGOの農園、関連する企業を回って、出会った人たちのこと、考えたことを書いたのが本書『だれも置き去りにしない』だ。創始者のトニー・メロト氏は「貧しい人には天才的な才能がある」と言い、カリンガはホームレスや台風被災者のために彼らとともに、企業や多くのボランティアを動員して、家を建てる。さらに一方的な援助を行うのではなく、ビジネスを起業し、彼らを参加させ、自立を促す。欧米やアジアの学生達はそこにインターンとして滞在し、ソーシャル・ビジネスを学ぶ。カリンガは国際的に高く評価され、メロト氏は日経アジア賞、米アショカ財団社会起業家賞などを受賞している。

ぜひ読んでください

『城西国際大学スポーツ』

—JIUアスリートの活躍をまとめて紹介!

2017年4月に発行した「新入生歓迎号」が創刊号。年3回発行し、2018年夏号で5回目を数えた。硬式野球部、サッカー部、女子駅伝部、女子ソフトボール、観光学部軟式野球部、柔道部、剣道部など主要な運動部の各大会での成績、活動ぶりのほか東京五輪の正式種目となったサーフィンにも焦点を当てて紹介。「学生時代のスポーツ」を語る教職員のコラムやプロの世界や実業団で活躍している卒業生の姿も追っている。



『JIU TIMES』

—『The Japan Times』とタイアップした学内英字紙

城西国際大学では、日本最大の発行部数を有する英字新聞『The Japan Times』とのタイアップによる『JIU TIMES』を刊行している。「国際大学にふさわしい学内英字紙を」という願いから2012年夏に創刊された。年3～4回発行され、2018年夏号で24回の発行を数えた。本学のさまざまな国際交流の取り組み、大学行事、研究の紹介やコラムを教職員、学生、留学生が英語で記事を執筆、英訳している。東金市をはじめとする周辺自治体の首長インタビューも登場し、地域との連携の様子も紹介されている。

